OLYMPUS

LINEAR PCM RECORDER

LS-20M

リニア PCM レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面や本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標および登録商標について

- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、Quick Time は米国アップル社の商標です。
- SD と SDHC は、SD Card Association の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、個人的かつ非営利目的において以下の場合のみライセンスされます。
  ・MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画 (以下、MPEG-4 ビデオと呼びます) を記録する場合。
  ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者が記録した MPEG-4 ビデオを再生する場合。
  ・MPEG-LA よりライセンスを受けた提供者から入手した MPEG-4 ビデオを再生する場合。
  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご覧ください。
- コンサートや公演等を権利者に無断で録音および撮影することは、法律で禁じられています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX

目次

はじめに

1 ご使用になる前の準備

2 録音／撮影について

3 再生について

4 メニューについて

5 本機をパソコンでお使いいただくためには

6 資料

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠ 危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

⚠ 警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃するとき、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。
- 三脚を取り付ける場合、本機を回さず三脚側のねじを回してください。

<データ消失に関する注意事項>

- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、DVD などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 本製品は故障, 当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

<記録したファイルに関する注意事項>

- 本機やパソコンの故障により、記録したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

本機について

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。**
引火・爆発の原因になります。

● **分解、修理、改造をしないでください。**
感電やけがをするおそれがあります。

● **車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。**
交通事故などの原因となります。

● **この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。**
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

● **SD／SDHC メモリカード以外は、絶対に本機に入れないでください。**
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

● **航空機内や病院など使用に制限のある場所ではご使用を避けるか、その場所の指示に従ってください。**

● **異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときは使用を中止してください。**
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

● **本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。**

⚠ 注意

● **操作前から、音量を上げないでください。**
聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

● **火気のある場所に電池を置かないでください。**

● **火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。**

● **⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

● **電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯･保管しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。**

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災･やけど･けがの原因となります。

⚠ 警告

● **濡れた手で触ったり持ったりしないでください。**
感電・故障の原因となります。

● **外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。**
破裂・発熱の原因となります。

● **電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。**
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。
- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

● **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

● **電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。**
電池は幼児・子供が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

● **万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

● **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。**

● **液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は､使用を中止してください。**

● **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**

● **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⚠ 注意

● **指定以外の電池を使用した場合､爆発（または破裂）の危険があります。使用済み電池は取扱説明書の「充電式電池の廃棄について」に従って破棄してください。**

● **電池を使って本機を長時間使用したあとは、すぐに電池を取り出さないでください。**
やけどの原因となります。

● **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。**

● **充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。**

● **充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。**

AC アダプタについて

⚠ 警告

- **分解、修理、改造ををしないでください。**
  感電・けがのおそれがあります。
- **引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。**
  爆発や火災、火傷の原因となります。
- **プラグ先端の ⊕ と ⊖ をショートさせないい。**
  火災ややけど、感電の原因となります。
- **落下や損傷により内部が露出したら、**
  ① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、やけど、けがのおそれがあります。
  ② 感電・火傷・けがに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ② 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。
- **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
  ① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ② 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。
- **万一 、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**
  ① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
  ② 販売店、またはサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

⚠ 注意

- **濡れた手で触ったり持ったりしないでください。**
  感電・故障の原因となります。
- **表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。**
- **電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。**
- **電源プラグのコンセントへの差し込みが不完全なまま使用しないでください。**
- **使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **電源コードを傷つけないでください。**
  - コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
  - コードの上に重いものをのせないでください。
  - 熱器具にコードを近づけないでください。
  - 火災・感電の原因となります。

充電式電池の廃棄について

- **使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕ と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。**
  詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (http://www.jbrc.com) をご覧ください。

Li-ion 00

液晶ディスプレイについて

- **本製品の液晶ディスプレイは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。**

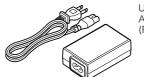
主な特長

- 高精細な 1920 × 1080 ピクセルのフル HD 動画を撮影できます。目的に合わせて撮影サイズを変更できます（☞ P.85）。
- 動画の記録には「MPEG-4 AVC/H.264」フォーマットを採用。パソコンや大画面テレビでも高精細な映像をお楽しみいただけます。
- 動画ファイルは動画サイトへもアップロードでき、インターネットで手軽に世界中に配信できます。
  動画サイトへのアップロードに適した [640 × 480 30fps ／ MP3] 形式を搭載しています（☞ P.85）。
- デジタルズーム機能を搭載しています。離れた場所から遠くの被写体をしっかり捉えることができます（☞ P.45）。
- 原音を忠実にとらえる、高感度・低ノイズステレオマイクを採用。
  マイク自体を 45 度外側に向けることにより、自然で広がりのあるステレオ感で録音できます。
- 録音形式は、原音を圧縮せずに録音する「リニア PCM 形式」と、効率のよい記録が可能な「MP3 形式」に対応。幅広いシーンで高音質録音が可能です（☞ P.73）。
  音楽ＣＤ（サンプリングレート 44.1kHz、ビット数 16bit）以上の高サンプリングレート、ビット数での高解像度録音が可能です。
  楽器の練習録音など様々な用途でリアルな音が録音できます。
- 本機で録音したファイルのほかにも、パソコンから転送した WAV、MP3 形式のファイルを再生できます。
  ミュージックプレーヤーとして、いつでもお楽しみいただけます。
- 本機で録音した音声ファイルの再生にあわせて、5 種類の映像（ビジュアライザ）を液晶ディスプレイに表示させることができます（☞ P.100）。
- 大容量記録メディアに対応。市販品の SD カードに記録できます（☞ P.27）。
- 録音をサポートする多彩な機能を搭載。録音レベルやマイク感度の調整、録音状況やお好みに応じ、各種録音機能をカスタマイズできます（☞ P.72 ～ P.79）。
- 動画の撮影をサポートする多彩な機能を搭載。ムービーレコーダーとして撮影シーンに合わせて各種撮影機能をカスタマイズできます（☞ P.85 ～ P.96）。
- SD カード内の各フォルダへ、ファイル移動またはコピーができます（☞ P.106）。
- 本機で記録した PCM 形式のファイルは、ファイルの分割をしたり（☞ P.108）、ファイルの一部分を消去（☞ P.62）することができます。
- インデックスマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探すことができます（☞ P.52）。
- USB2.0 Hi-Speed に対応。パソコンの外部メモリとして、データを高速で転送できます。
- USB 充電機能を搭載しています（☞ P.19）。
- 2.0 型 QVGA カラー液晶モニターを搭載しています。
- パソコンと接続して PC カメラとしてもお使いいただけます（☞ P.137）。

同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。

本体

SD カード

USB 接続
AC アダプタ
(F-3AC)

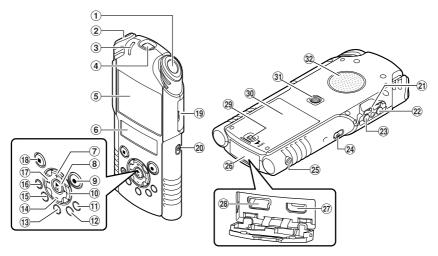
USB 接続ケーブル

取扱説明書
(保証書付)

ご注意

- USB 接続ケーブルと AC アダプタは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

リチウムイオン
電池 (LI-42B)

各部のなまえ

① 内蔵ステレオマイク（R）
② 内蔵ステレオマイク（L）
③ PEAK/LED 表示ランプ（LED）
④ レンズ
⑤ メイン LCD（液晶パネル）
⑥ サブ LCD（液晶パネル）
⑦ ＋ボタン
⑧ ▶OK ボタン
⑨ REC（●）ボタン
録音／撮影表示ランプ（LED）
⑩ ▶▶I ボタン
⑪ LIST ボタン
⑫ MENU ボタン
⑬ A-B REPEAT ボタン
⑭ －ボタン
⑮ Fn ボタン
⑯ ERASE ボタン
⑰ I◀◀ ボタン
⑱ STOP（■）ボタン
⑲ カードカバー
⑳ **モード**スイッチ（🎙／🎥）
㉑ ストラップ取り付け部
㉒ MIC ジャック
（マイク／ライン入力）
㉓ EAR ジャック
㉔ POWER/HOLD スイッチ
㉕ REMOTE ジャック（リモコン）
別売のリモコンセット RS30W の受信部を接続します。リモコンで本機の録音／撮影／停止の操作ができます。
㉖ 端子カバー
㉗ **HDMI** マイクロ端子
㉘ **USB** 端子
㉙ 電池カバーロックボタン
㉚ 電池カバー
㉛ 三脚穴
㉜ 内蔵スピーカ

ディスプレイ（液晶パネル）

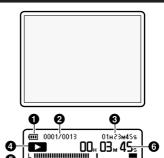
■ 🎙モード（[レコーダー] モード表示画面）：

フォルダリスト表示画面

❶ ルートフォルダ表示
❷ フォルダ名

ファイルリスト表示画面

❶ フォルダ名
❷ ファイル名
❸ ガイド表示

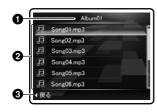
ファイル表示画面

❶ 電池表示
❷ ファイル番号／
フォルダ内の総ファイル数
❸ 録音可能な残り時間／
ファイルの長さ
❹ 本機の動作状態
[●]：録音表示
[●II]：録音一時停止表示
[■]：停止表示
[▶]：再生表示
[▶▶]：早送り表示
[◀◀]：早戻し表示
❺ レベルメーター
❻ 録音経過時間／
再生経過時間

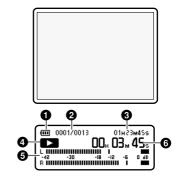
■ 🎙 モード（[ミュージック] モード表示画面）：

リスト表示画面 ❶

フォルダ内にファイルとフォルダがある場合

❶ 現在のフォルダ名
❷ フォルダ名／ファイル名
❸ ガイド表示

リスト表示画面 ❷

フォルダ内にファイルのみがある場合

❶ 現在のフォルダ名
❷ ファイル名
❸ ガイド表示

ファイル表示画面

❶ 電池表示
❷ ファイル番号／
　フォルダ内の総ファイル数
❸ ファイルの長さ
❹ 本機の動作状態
　[■]：停止表示
　[▶]：再生表示
　[▶▶]：早送り表示
　[◀◀]：早戻し表示
❺ レベルメーター
❻ 再生経過時間

■ 🎥 モード（[ムービー] モード表示画面）:

フォルダリスト表示画面

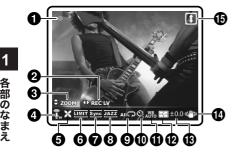
❶ ルートフォルダ表示
❷ フォルダ名

ファイルリスト表示画面

❶ 現在のフォルダ名
❷ ファイル名
❸ ガイド表示

ファイル表示画面

❶ 撮影モード表示
❷ アイコン表示部
❸ 電池表示
❹ ファイル番号／
フォルダ内の総ファイル数
❺ 撮影可能な残り時間／
ファイルの長さ
❻ 本機の動作状態
[●]：撮影表示
[●II]：撮影一時停止表示
[■]：停止表示
[▶]：再生表示
[▶▶]：早送り表示
[◀◀]：早戻し表示
❼ レベルメーター
❽ 撮影経過時間／再生経過時間

■ アイコン表示：

❶ 撮影モード [●][🎥]
❷ 録音レベル [◀▶REC LV]
❸ ズーム [⬍ZOOM] ／
ボリューム [⬍VOL]
❹ マイク感度 [ ][ ]
❺ ローカットフィルタ [ ]
❻ リミッター [LIMIT]
❼ 音声同期録音 [Sync]
❽ イコライザー [USER][JAZZ][ROCK][POP]
❾ 再生モード [All][ ][ ]
❿ セルフタイマー [ ][ ]
⓫ ホワイトバランス
[WB AUTO][ ][ ][ ][ ][ ]
⓬ 測光方式 [ ][ ]
⓭ 露出補正 [+2.0]
⓮ 手振れ補正 [ ]
⓯ 反転録画 [ ]

ディスプレイついて

本機の 2 つのディスプレイはモードや機能によって、メイン LCD とサブ LCD を使い分けて表示します。

🎙 モード

録音または再生中：
- 録音または再生中は、メイン LCD は消灯します。サブ LCD のみ表示します。

停止中：
- 停止中は、メイン LCD とサブ LCD の両方を表示します。

メニュー設定：
- メニュー設定に移行中は、メイン LCD とサブ LCD の両方を表示します。

🎥 モード

撮影または再生中：
- 撮影または再生中はメイン LCD とサブ LCD の両方を表示します。
ただし、[**録画設定**] の [**メイン LCD 表示**] 設定を [**OFF**] にしている場合は、撮影中は消灯します（☞ P.87）。

停止中：
- 停止中は、メイン LCD とサブ LCD の両方を表示します。

メニュー設定：
- メニュー設定に移行中は、メイン LCD とサブ LCD の両方を表示します。

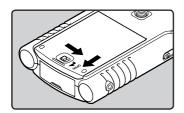
電源について

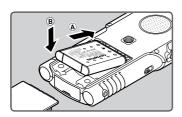
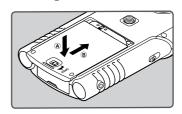
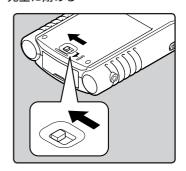
電池パックを入れる

電池は、当社製リチウムイオン電池（LI-42B）1 個を使用します。それ以外の電池は使用できません。

> ❗ 付属の充電池は完全に充電されていません。ご使用の前や長期間ご使用にならなかった場合、連続充電のうえ完全に充電することをおすすめします(☞ P.19)。

1 電池カバーロックボタンを矢印の方向へスライドさせる

- 電池カバーがはずれます。

2 裏ラベルを上にして、本機と電池パックの端子部を合わせ、Ⓐ の方向に押し付けながら、Ⓑ の方向に押し込んで取り付ける

- 電池の向きを間違えないように注意してください。

3 電池カバーを Ⓐ の方向に押さえながら閉じ、Ⓑ の方向にスライドさせる

4 電池カバーロックボタンを矢印の方向へスライドさせて、電池カバーを完全に閉める

- 電池カバーロックボタンがロックされたことを確認してください。

ご注意

- 電池の交換は必ず本機の電源を切った状態で行ってください。本機の動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生するおそれがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が 15 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、時刻の設定が必要になる場合があります。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- 電池をお買い替えの場合、必ず当社製リチウムイオン電池（LI-42B）をご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- リチウムイオン電池は自己放電特性を持っているので、本製品を開封後、初めてご使用になる前には、付属のリチウムイオン充電池の充電を行ってください。

電池表示について

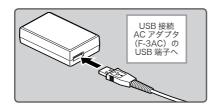
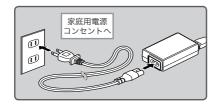
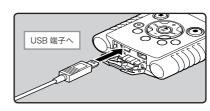
電池の残量に応じてサブ LCD の電池表示が次のようにかわります。

- サブ LCD に［ ］が表示されたら、早めに充電してください。
  電池がなくなると、［ ］と［**電池残量がありません**］と表示され、動作が停止します。
- 充電時は電池表示が電池残量に関係なく、繰り返し表示されます。

USB 接続 AC アダプタと接続して充電する

USB 接続 AC アダプタ（F-3AC ）と接続して充電できます。

> • AC アダプタを接続する前に USB 接続設定を［**AC アダプタ接続**］に切り替えてください（☞ P.120）。
> • USB 接続ケーブルを接続する前に、ホールドを解除してください（☞ P.23）。

1 USB 接続ケーブルを AC アダプタの USB 端子に接続する

2 AC ケーブルを AC アダプタに接続し、家庭用電源コンセントに接続する

3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機底面の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する

4 ▶OK ボタンを押して充電を開始する

- ［**OK ボタンで充電を開始します**］が点滅中に ▶OK ボタンを押してください。
- ▶OK ボタン以外のボタンを押すと、停止通常になります。
- サブ LCD に電池表示がアニメーションで表示され、PEAK/LED 表示ランプが点灯します。
- 電源が切れている状態から充電した場合、充電中にいずれかのボタンを押すと通常の停止状態になります。

5 充電完了

- サブ LCD の電池表示のアニメーション表示が終わり、PEAK/LED 表示ランプが消灯します。
- 電源が切れている状態から充電した場合、充電が完了すると電源が切れます。

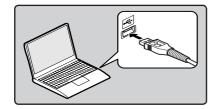
1 電源について

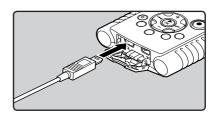
パソコンとUSB接続して充電する

パソコンのUSB端子に接続して充電できます。充電をする場合、充電池（付属）を本体に正しく入れてください（☞ P.17）。

> **!**
> - USB接続ケーブルを接続する前にホールドを解除してください（☞ P.23）。
> - SDカードを入れていない場合は、充電が始まりません。

1 パソコンを起動する

2 USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

3 SDカードを本機に入れる（☞ P.27）

4 本機が停止または電源が切れている状態で、本機底面のUSB端子へUSB接続ケーブルを接続する

5 充電を開始する

- メインLCDに電池表示がアニメーションで表示され、PEAK/LED表示ランプが点灯します。

6 ［**充電完了**］と表示されたら充電完了です

充電時間：約2時間＊

＊ 室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。電池の残量や充電の状態などにより変化します。

ご注意

- 録音、撮影、再生中は充電できません。
- 内蔵スピーカで再生するとき、電池表示が［▥］であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合、音量を下げてご使用ください。
- 本機の電源が入っているとき、または本機を他の機器に接続しているときは、電池や AC アダプタを抜き差ししないでください。本機に設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- AC アダプタは AC100 ～ 240V（50/60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプタが必要になる場合があります。詳しくは電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、AC アダプタが故障することがありますので使用しないでください。
- ＵＳＢ接続したパソコンの電源が入っているときに充電をしてください。
  パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合、充電できません。
- パソコンと接続して充電するときは USB ハブを使用しないでください。
- ［C］ ***1** または ［H］ ***2** が点滅している場合、充電できません。周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境で充電してください。
  ***1** ［C］：周囲の温度が低い場合
  ***2** ［H］：周囲の温度が高い場合
- 満充電しても使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい電池と取り替えてください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB 接続設定を［**PC カメラ**］に設定していると USB 経由での充電ができません。充電をする場合は、［**ストレージ**］に設定してください（☞ P.120）。
- USB 接続設定を［**PC カメラ**］に設定しているときに充電する場合は、USB 接続設定を［**毎回確認**］に設定し、USB ケーブルを接続します。［**USB 接続**］画面で［**AC アダプタ接続**］を選ぶと、充電を開始します（☞ P.120）。
- PEAK/LED 表示ランプは［**LED**］の設定（☞ P.114）に合わせて点灯します。

充電について

リチウムイオン電池（LI-42B）ご使用の際には下記をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 ～ 42℃
充電：5 ～ 35℃
長期保管：－ 20 ～ 30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合、液漏れ･さびを防ぐために、充電池を取り外して保管してください。

ご注意

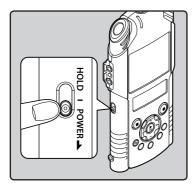
- リチウムイオン電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1 カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされない場合があります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 充電池は、関係する法令に従って処分してください。充電池を完全に放電しないで処分する場合、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

電源を入れる／切る

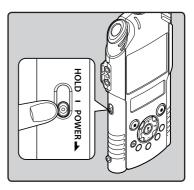
本機をご使用にならない場合、電源を切ることで電池の消耗を最小限に抑えられます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

1
電源について

電源を入れる

本機の電源が切れている状態で POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へスライドさせる

- ディスプレイが点灯し電源が入ります。

電源を切る

POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる

- ディスプレイが消灯し電源が切れます。
- レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

オートパワーオフについて

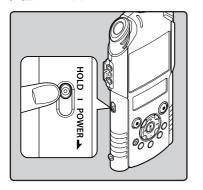
電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、電源が切れます（☞ P.117）。

- オートパワーオフで電源が切れたら、再度電源を入れてください。
- 充電中はオートパワーオフは機能しません。

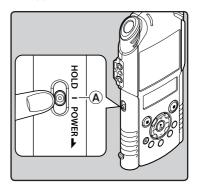
誤操作を防止する－ホールド機能

ホールドにすると動作中の状態を保ち､ボタン操作を受け付けません｡かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。
また、録音中や撮影中に誤って停止させてしまうことを防ぎます。

ホールドにする

POWER/HOLD スイッチを［**HOLD**］の位置にスライドさせる

• サブ LCD に［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

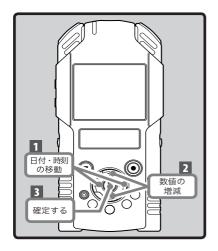
ホールドを解除する

POWER/HOLD スイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる

ご注意

• ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。
• 本機の動作中にホールドにすると、動作状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音または撮影が終了すると停止状態になります)。
• RS30W リモコンセット（別売）を接続すると、ホールドの状態でもリモコンで操作できます。

日付・時刻を合わせる［Time & Date］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ記録した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。記録したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付･時刻合わせをしてください。

ご購入後初めてご使用になる場合や、長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合、または時計設定がされていない場合は［時計を設定してください］と表示されます。「時」表示が点滅したら、手順 1 から設定を行ってください。

1 ►►I または I◄◄ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- 「**時**」「**分**」「**年**」「**月**」「**日**」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

2 ＋または－ボタンを押して設定する

- 以下同じように ►►I または I◄◄ ボタンで次の設定項目を選び、＋または－ボタンを押して設定を行います。
- 時、分の設定中、**LIST** ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

例：午後 10 時 38 分の場合

PM 10 時 38 分（初期値） ←→ 22 時 38 分

- 年、月、日の設定中、**LIST** ボタンを押すたびに［**年**］［**月**］［**日**］表示の順序が切り替わります。

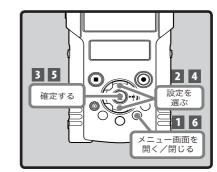
例：2011 年 3 月 24 日の場合

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせてすべての項目を設定して、▶**OK** ボタンを押してください。

ご注意

- 設定の途中に ▶**OK** ボタンを押すと、設定されません。

日付・時刻の設定をかえるには

停止中に **STOP**(■)ボタンを押し続けると「**日時**」、「**メモリ残量**」や「**ファイル形式**」を確認できます。現在日時が合っていない場合、下記の手順で設定してください。

1 停止中に MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.66）。

1

日付・時刻を合わせる

JP

2 **＋または－ボタンを押して［本体設定］タブを選ぶ**

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 **▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる**

- ［**本体設定**］画面に入ります。

4 **＋または－ボタンを押して［時計設定］を選ぶ**

5 **▶OK ボタンを押す**

- ［**時計設定**］画面に入ります。
- ［**時**］表示が点滅します。

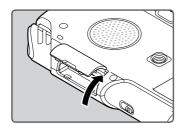
以下は「**日付・時刻を合わせる［Time & Date］**」の手順 1 ～手順 3 の設定と同じです (☞ P.24)。

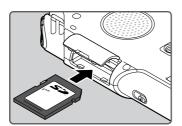
6 **MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する**

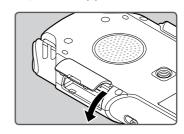
SD カードを入れる／取り出す

本書に記載されている「SD」とは SD と SDHC の両方をさします。本機では市販の SD カードをご使用になれます。

SD カードを入れる

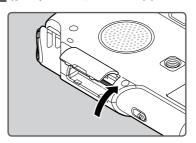
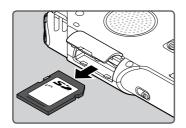
1 停止中にカードカバーを開ける

2 図のように SD カードの向きを正しく合わせて入れる

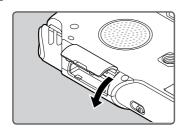
- SD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。

- SD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、SD カードが抜けなくなる場合があります。
- SD カードが奥まで挿入されていないと、SD カードに記録できない場合があります。

3 カードカバーを閉じる

ご注意

- パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）した SD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機でフォーマットしてください（☞ P.125）。

SD カードを取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける

2 SD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す

- SD カードが手前に出て止まります。SD カードをつまんで取り出してください。

3 カードカバーを閉じる

ご注意

- SD カードを取り出す際に、SD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、SD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- SD カードの製造メーカーや種類によっては本機との相性により正しく認識しないことがあります。
- ご利用の際は、必ず SD カードに付属の取扱説明書を合わせてお読み下さい。
- SD カードが認識されない場合、SD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- SD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、SD カードを初期化し直してください (☞ P.125)。
- SD カード全ての動作を保障するものではありません。

SD カードについて

SD カードが書き込み禁止になっている場合、［**SD カードがロックされています**］と表示されます。カードを入れる前に、書き込み禁止を解除してください。

書き込み禁止スイッチが［**LOCK**］方向になっていると、録音などができません。

LOCK

当社基準において動作確認済の SD カードについては、当社サポートホームページをご覧ください。

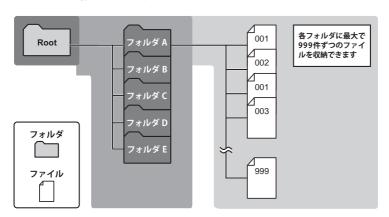
http://olympus-imaging.jp/

ホームページでは弊社が動作確認を行った SD カードメーカーを紹介していますが、弊社がお客様に SD カードの動作保障をするものではありません。また、各カードメーカーの仕様変更などにより、対応できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

フォルダについて

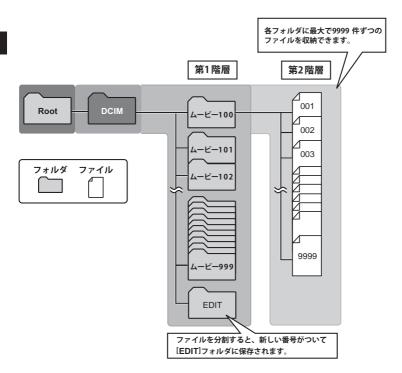
記録メディアは、SD カードを使用できます。音声ファイル、動画ファイル、音楽ファイルは、ツリー型に構成されたフォルダにそれぞれ振り分けて保存されます。

音声録音用フォルダについて

［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］は音声録音用フォルダで、本機で録音を行う場合、この 5 つのフォルダのいずれかを選んで行ってください。

ご注意

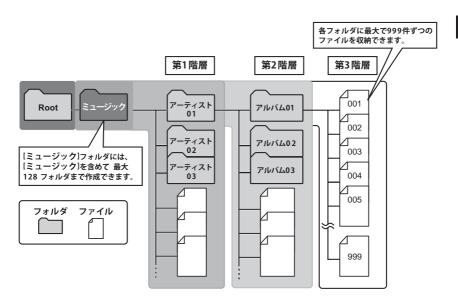
・［**Root**］フォルダ直下に入れたファイルやフォルダは本機で表示されません。

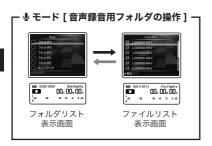
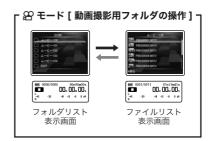
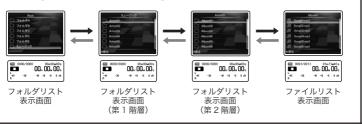
動画撮影用フォルダについて

本機で撮影した動画を保存するフォルダがあらかじめ用意されています。

ご注意

・ フォーマット後は [**ムービー 100**] フォルダのみが作成されます。各フォルダ毎に 9999 件を越えると自動的に次のフォルダが作成されます。

音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ内に下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。同じフォルダ内にある音楽ファイルは、お好みの順番に並び替えて再生できます（☞ P.105）。

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中に操作してください。
フォルダの階層構造については［**フォルダについて**］をご覧ください（☞ P.29 ～ P.31）。

階層を移動する

戻る：LIST ボタン
押すごとに 1 つ上の階層に戻ります。リスト表示画面では、⏮ ボタンでも操作できます。

進む：▶OK ボタン
押すごとにリスト表示画面で選んだフォルダまたはファイルを開き 1 つ下の階層に進みます。リスト表示画面では、⏭ ボタンでも操作できます。

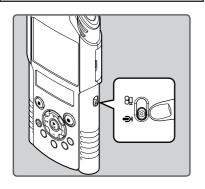
＋またはーボタン
フォルダやファイルを選びます。

リスト表示画面：
本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

音声／動画モードの切り替え

本機は音声レコーダーとムービーレコーダーの２種類の機能を備えています。
音声だけを記録するか、動画も記録するかの切り替えができます。
使用目的に合わせて**モードスイッチ**を切り替えてください。

1 モードスイッチを または に切り替える

> 本機が録音、撮影、再生などの動作中はモードスイッチの切り替えを受け付けません。本機を停止状態にするか電源を切ってからモードを切り替えてください。

ご注意

- 本機の動作中にモードスイッチを切り替えると、動作中の状態は継続されますが、停止状態になると自動的にモードが切り替わります。

各モードの機能について

(音声モード) に切り替えた場合：

［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］の音声録音用フォルダに録音したり、本機で録音したファイルを再生できます。また､本機の［**ミュージック**］フォルダに転送した音楽ファイルを再生できます（☞ P.29、P.31）。

(動画モード) に切り替えた場合：

動画撮影用フォルダ［**DCIM**］に動画を撮影したり、撮影したファイルを再生できます（☞ P.30）。

本書で使われるアイコンについて

	モードスイッチが音声モードの時に操作や設定ができます。
	モードスイッチが動画モードの時に操作や設定ができます。
	モードスイッチが音声モードまたは動画モードのどちらでも操作や設定が可能です。

録音／撮影について

録音を始める前に

準備しましょう

モードを切り替える：

本機のモードスイッチを にしてください（☞ P.33）。

録音形式を選ぶ：

リニア PCM 形式の他に MP3 形式で録音できます（☞ P.73）。

録音レベルとマイク感度の調整

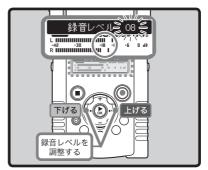
良い音で録音するには、[**マイク感度**]（☞ P.72）と [**録音レベル**]（☞ P.35-36、P.75-76）を正しく調整することが大切です。

音源

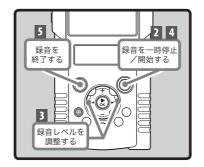
内蔵マイクで録音する場合：

本機のディスプレイ画面を上にして、内蔵ステレオマイクを音源に向けます。

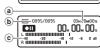
内蔵ステレオマイクについて：

[**録音レベル**] の調整方法を [**マニュアル**]（初期設定）または [**オート**] から選べます (☞ P.75-76)。
[**マニュアル**] で録音レベルを調整すると、周囲の状況に合わせた適切な録音ができます。
[**マニュアル**] 設定時の調整のしかたは P.35-36、P.76 をご覧ください。

マイクの集音範囲は [**マイク感度**] 設定を [**高**] または [**低**] に切り替えて調整できます (☞ P.72)。

録音する

録音を開始する前に[**フォルダ A**]〜[**フォルダ E**]の音声録音用フォルダを選んでください。[**フォルダ A**] フォルダはプライベート用、[**フォルダ B**] フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

1 録音するフォルダを選ぶ (☞ P.32)

- 新しく録音した音声は、選んだフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

2 REC (●) ボタンを押して、録音の準備をする

- 録音／撮影表示ランプが点滅し、サブ LCD の [●II] が点灯します。
- メイン LCD は消灯します。

ⓐ 録音可能な残り時間
ⓑ ファイル番号
ⓒ レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

- 音声同期録音設定中は同期レベルの設定ができます（☞ P.83)。
- 録音待機状態および録音中は、[**録音モード**] の変更ができません。停止中に設定してください（☞ P.73)。
- 本機は音源の音量が大きく変化するような録音状況などでもきれいに録音できるように設計されておりますが、録音状況によっては録音レベルを手動で調整することで、より高音質な録音ができます（☞ P.75)。

3 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する

2

録音する

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると録音レベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。
- あまりにも大きな音を入力すると、［**録音レベル**］を［**オート**］や［**リミッター ON**］に設定していてもノイズが発生することがあります（☞ P.75）。また、このときには過入力をお知らせする PEAK/LED 表示ランプが点灯しない場合があります。失敗のない録音のために試し録りをしてください。
- ［**マイク感度**］は［**低**］に初期設定されています。感度が低い場合は、［**高**］にしてください（☞ P.72）。
- ［**録音レベル**］が［**オート**］の場合、録音レベルは自動的に調整されます。録音レベル調整機能やリミッター機能を使用する場合、［**録音レベル**］は［**マニュアル**］にしてください（☞ P.75）。

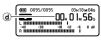
適切な録音レベルに調整するには：

- 録音中にレベルメーターが右いっぱいまで振り切れてしまったり、PEAK/LED 表示ランプが赤く点灯した場合、録音レベルが高すぎるために音が歪んだ状態で録音されます。

レベルメーターが振り切れている状態（音が歪んで録音される）

- レベルメーターが［**-6dB**］を超えないように録音レベル調整します。

録音レベルを下げて、過入力を調整した状態の例

4 REC（●）ボタンを押して、録音を開始する

- 録音／撮影表示ランプが点灯し、サブ LCD の［■］が点灯します。

ⓓ 録音経過時間

5 STOP（■）ボタンを押して録音を停止する

- サブ LCD の［■］が点灯します。

ⓔ ファイルの長さ

ご注意

- 頭切れを防ぐために、録音／撮影表示ランプの点灯やサブ LCD のモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、PEAK/LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.59）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、空き容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.59）。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください（☞ P.125）。
- ［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］以外のフォルダを選んで **REC**（●）ボタンを押すと、［**A ～ E フォルダで録音してください**］が点滅します。改めて［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］のいずれかのフォルダを選んでから録音を開始してください。
- 録音モードや記録メディアの状態によっては、録音中に記録メディアへのデータ転送が間に合わず、音飛びした状態で録音されることがあります。このような場合、録音中および録音終了時に［**データ書込みエラー**］と表示されます。データをパソコンに転送してから記録メディアを初期化してください。
- 大事な録音をするときには、事前に記録メディアを初期化することをおすすめします。
- 別売りの専用リモコンセット RS30W（☞ P.143）の録音ボタンを 1 回押すと、すぐに録音が開始されます。
- 本製品は音の再現性を重視しているため、風のあたる環境での使用には適しておりません。

リニア PCM 形式で 2GB を超えての録音について：

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB 毎に分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 2GB を超えて録音したときは、フォルダ内のファイル件数が 999 件を超える場合があります。1000 件目以降のファイルは本機では認識しませんので、パソコンと接続して確認してください。
- 最大 24 時間まで録音を継続します。

一時停止するには

録音中に、REC（●）ボタンを押す

- サブ LCD の［■II］が点灯します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには：

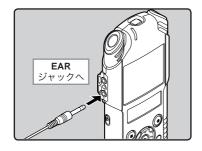
REC（●）ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音を再開します。

録音中の音声を聞くには（録音モニター）

イヤホンを本機の **EAR** ジャックに差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は**+**または**−**ボタンを使用して調節できます。

本機の EAR ジャックにイヤホンを接続する

- 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。

ご注意

- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。
- アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします（☞ P.80）。

録音に関する設定

録音環境に合わせてさまざまな設定ができます。

項目	内容
[マイク感度]（☞ P.72）	録音感度を設定します。
[録音モード]（☞ P.73）	録音形式ごとに録音レートを設定できます。
[録音レベル]（☞ P.75）	録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。
[ローカットフィルタ]（☞ P.77）	エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。
[セルフタイマー]（☞ P.78）	セルフタイマー機能を設定します。
[録音モニター]（☞ P.80）	**EAR** ジャックから録音モニター音を出力する／しないを選べます。
[プラグインパワー]（☞ P.81）	**MIC** ジャックに接続した外部マイクに合わせ、プラグインパワー機能を使う／使わないを選べます。
[入力ジャック]（☞ P.82）	**MIC** ジャックに外部機器を接続して録音するライン入力か、外部マイクを接続して録音するかを選べます。
[音声同期録音]（☞ P.83）	音声同期録音の起動レベルを設定できます。

録音状況ごとの推奨設定（めやす）

ご購入後すぐに高音質ステレオ録音ができるように［**PCM 44.1kHz**］モードが設定されています。録音状況に応じて、録音モードに関する各種機能を詳細に設定することもできます。下記の表は録音状況を例にした録音設定のめやすです。実際の録音状況に合わせて、設定してください。

録音機能	録音状況				
	室内での楽器演奏	練習スタジオでのバンド演奏	広いホールなどの演奏	広い会場での大人数の会議	室内での少人数の会議
録音レベル *（☞ P.75）	［**録音レベル**］を［**マニュアル**］にした場合、録音レベルの調整ができます。レベルメーターを見ながら調整します				
［**マイク感度**］（☞ P.72）	［**低**］			［**高**］	
［**ローカットフィルタ**］（☞ P.77）	［**OFF**］または［**100Hz**］			［**300Hz**］	
［**録音モード**］（☞ P.73）	音質重視で録音するまたは録音時間重視で録音するなど、目的に合わせ録音モードが選べます				
［**録音レベル**］*（☞ P.75）	録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。［**録音レベル**］を［**マニュアル**］にした場合、さらにリミッター機能の設定が行えます				
［**録音モニター**］（☞ P.80）	**EAR** ジャックから録音モニター音を出力する／しないを選べます				
［**プラグインパワー**］（☞ P.81）	**MIC** ジャックに接続した外部マイクに合わせ、プラグインパワー機能を使う／使わないを選べます				

* ［**録音レベル**］が［**オート**］の場合、録音レベルは自動的に調整されます。このときには、録音レベル調整機能やリミッター機能は働きません（☞ P.75）。

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

① **ユーザー ID：**
本機に設定されたユーザー ID 名で、お使いのモデル名になります。

② **ファイル番号：**
ファイル番号は連続してつけられます。

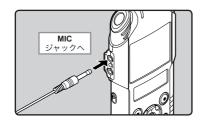
③ **拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
- リニア PCM 形式：「**.WAV**」
- MP3 形式：「**.MP3**」

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

> ! 外部マイクを **MIC** ジャックに接続する前に、[**入力ジャック**] の設定を [**マイク**] に切り替えてください（☞ P.82)。

■ 外部マイクで録音する：

本機の MIC ジャックに外部マイクを接続する

ご使用いただける外部マイク（別売）(☞ P.143)

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W
プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31
野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。

コンパクトズームマイクロホン：ME32
三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

モノラルテレホンピックアップ：TP7
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

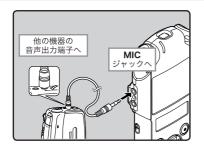
ご注意

- 本機の **MIC** ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。プラグインパワー機能を［**ON**］にした場合、本機からマイクへ電源を供給します（☞ P.81）。
- プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合、プラグインパワー機能を［**OFF**］にしてください。録音時にノイズが出るおそれがあります（☞ P.81）。

■ 他の機器の音声を本機で録音する：

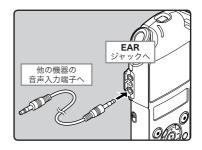
他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の **MIC** ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

> 外部マイクを **MIC** ジャックに接続する前に、[**入力ジャック**] の設定を [**マイク**] に切り替えてください（☞ P.82)。

ご注意

- 本機で録音レベルの調整（☞ P.76）をしてもきれいに録音できない場合、接続した外部機器の出力レベルの過多／過少が考えられます。外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

■ 本機の音声を他の機器で録音する：

- ライン入力のある他機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の **EAR** ジャックを、ダビング用コネクティングコード KA334（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。
- ライン入力がなく、マイク入力だけの他の機器と接続する場合は、減衰抵抗つきダビング用コネクティングコード KA333（別売）をお使いください。

> 外部マイクを **MIC** ジャックに接続する前に、[**入力ジャック**] の設定を [**ライン**] に切り替えてください（☞ P.82)。

ご注意

- 本機で再生関連の音質設定を調整すると、**EAR** ジャックから出力される音声出力信号も変化します（☞ P.98)。

動画の撮影を始める前に

準備しましょう

モードを切り替える：

本機のモードスイッチを にしてください
(☞ P.33)。

画質を選ぶ：

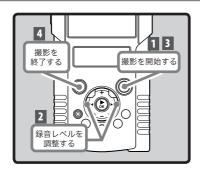
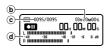
撮影する内容や長さによって動画の解像度と
録音形式を設定します（☞ P.85)。

被写体にレンズを向ける

撮影したい被写体の方向にレンズを向けます。撮影している画像はメイン LCD で確認できます。撮影中の音声は内蔵ステレオマイクで高音質のステレオ録音ができます。

固定するには：

市販のカメラ用の三脚を本機に取り付けると、
正確なマイクの角度調整などができます。

動画を撮影する

1 REC（●）ボタンを押して撮影の準備をする

- 録音／撮影表示ランプが点滅し、サブ LCD の［■II］が点灯します。
- 撮影待機状態および撮影中は、［**画質**］の変更ができません。停止中に設定してください（☞ P.85）。

ⓐ 撮影モード（撮影一時停止状態）
ⓑ 撮影可能な残り時間
ⓒ ファイル番号
ⓓ レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声の録音レベルを調整する（☞ P.35）

ⓔ 録音レベルガイド表示

3 REC（●）ボタンを押して撮影を開始する

- 録音／撮影表示ランプが点灯し、サブ LCD の［■］が点灯します。
- 音声の録音も同時に始まります。

ⓕ 撮影モード（撮影状態）

4 STOP（■）ボタンを押して撮影を停止する

- サブ LCD の［■］が点灯します。

ⓖ ファイルの長さ

ご注意

- 頭切れを防ぐために、録音／撮影表示ランプの点灯やサブ LCD のモード表示を確認してから撮影を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、PEAK/LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、空き容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.59）。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください（☞ P.125）。
- 画質や記録メディアの状態によっては、撮影中に記録メディアへのデータ転送が間に合わず、音飛びした状態で記録されることがあります。このような場合、撮影中に［**データ書込みエラー**］と表示されて録画が停止する場合があります。データをパソコンに転送してから記録メディアを初期化してください。
- 大事な撮影をするときには、事前に記録メディアを初期化することをおすすめします。

- 別売りの専用リモコンセット RS30W（☞ P.143）の録音ボタンを 1 回押すと、すぐに撮影が開始されます。
- 撮影可能な残り時間は目安で、早めに終わることもあります。

4GB を超えての撮影について：
1 ファイルの容量が 4GB を超えた場合、撮影を停止します。

音量を調整する

1 撮影中に▶OK ボタンを押して ＋ / －ボタンの機能を切り替える

ⓐ 音量調整表示

2 ＋または－ボタンを押して音量を調整する

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

ご注意

- 撮影開始時の＋または－ボタンは、ズームの調整に設定されています。

ズームを使う

1 撮影中に▶OK ボタンを押して ＋ / －ボタンの機能を切り替える

ⓐ ズーム表示

2 撮影中に＋または－ボタンを押して撮影する範囲を調整する

［**＋**］：
望遠画面になります。
［**－**］：
広角画面になります。

- ズーム動作に入るとメイン LCD にズームバーが表示されます。

ご注意

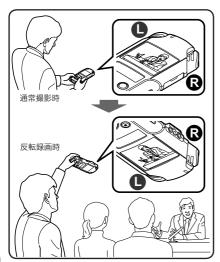
- [**マジックムービー**] の設定が [PIN HOLE] の場合は、ズームを使用できません。

本機を反転させて撮影する

撮影者の周囲に多くの人がいる環境や、被写体が視界に入りづらい環境での撮影時に便利な機能です。

> 本機の表裏を反転させて撮影する場合、あらかじめ [**反転録画**] の設定を [**ON**] にしてください（☞ P.88)。

反転録画機能で撮影する：

図のように本機を頭上に構えて、本機の表裏を反転させて撮影するような場合でも、レンズの上下と内蔵ステレオマイクの左右（L チャンネルと R チャンネル）を自動反転しますので、通常の撮影時と変わらない記録ができます。

反転録画中は、メイン LCD に [⇕] が表示されます。

撮影に関する設定

撮影環境や使用目的に合わせてお好みの設定をお選びください（☞ P.85 ～ P.96)。

[画質] **(☞ P.85)**	撮影する動画の撮影サイズと音質を設定します。
[メイン LCD 表示] **(☞ P.87)**	撮影中のメイン LCD を表示／非表示の設定ができます。
[反転録画] **(☞ P.88)**	本機を反転させて撮影する設定をします。
[マジックムービー] **(☞ P.89)**	お好みの特殊効果を使って、表現豊かな撮影ができます。
[手振れ補正] **(☞ P.91)**	撮影時の手ぶれや被写体ぶれを軽減します。
[測光方式] **(☞ P.92)**	明るさを測る範囲を選びます。
[ホワイトバランス] **(☞ P.93)**	撮影シーンに応じたホワイトバランスを設定します。
[露出補正] **(☞ P.95)**	適正露出を設定します。
[高感度モード] **(☞ P.96)**	撮影感度を設定します。

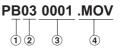
撮影時の録音設定について

撮影時の収音に関する設定ができます（☞ P.72 ～ P.82）。[**録画設定**] とあわせてお使いいただくと便利です。

[マイク感度] (☞ P.72)	録音感度を設定します。
[録音レベル] (☞ P.75)	録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。
[ローカット フィルタ] (☞ P.77)	エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。
[セルフタイマー] (☞ P.78)	セルフタイマー機能を設定します。
[録音モニター] (☞ P.80)	**EAR** ジャックから録音モニター音を出力する／しないを選べます。
[プラグインパワー] (☞ P.81)	**MIC** ジャックに接続した外部マイクに合わせ、プラグインパワー機能を使う／使わないを選べます。
[入力ジャック] (☞ P.82)	**MIC** ジャックに外部機器を接続して録音するライン入力か、外部マイクを接続して録音するかを選べます。

外部マイクで録音する

外部マイクを接続し、音声を録音できます。本機のジャックへの抜き差しは、撮影中に行わないでください。外部マイクの接続方法や、本機でご使用いただける外部マイクについては、☞ P.40 をご覧ください。

本機で撮影した動画には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

① **撮影した月：**
撮影した月を表します。
撮影した月は、１＝１月、２＝２月、３＝３月、４＝４月、５＝５月、６＝６月、７＝７月、８＝８月、９＝９月となり、１０月はA、１１月はB、１２月はCと表現されます。

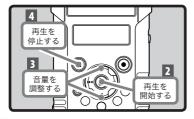
② **撮影した日付：**
撮影した日付を表します。

③ **ファイル番号：**
ファイル番号が連続でつけられます。

④ **拡張子：**
本機で撮影した場合の動画形式の拡張子です。
- MOV 形式：「**.MOV**」

再生について

再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した WAV、MP3 形式のファイルを再生できます。

1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ
(☞ P.32)

2 ►OK ボタンを押して再生を開始する

- サブ LCD の［▶］が点灯します。
- 再生を開始すると、メイン LCD は消灯します。

ⓐ ファイルの長さ
ⓑ ファイル番号
ⓒ レベルメーター
ⓓ 再生経過時間

3 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

4 STOP（■）ボタンを押して再生を停止する

- サブ LCD の［■］が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください（☞ P.97 ～ P.101）。

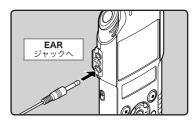
[再生モード] (☞ P.97)	お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。
[イコライザー] (☞ P.98)	お好みの音質で音楽を楽しめます。
[ビジュアライザ] (☞ P.100)	音声ファイルの再生に合わせて映像を一緒に楽しめます。
[スキップ間隔] (☞ P.101)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

ご注意

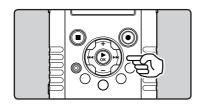
- ［**再生設定**］の［**ビジュアライザ**］設定が［**ON**］の場合、音声ファイルの再生にあわせてメイン LCD に設定したビジュアライザ効果が表示されます（☞ P.100）。

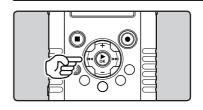
イヤホンで聞くには

本機の **EAR** ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

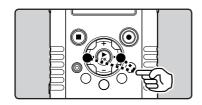
- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

早送りをするには

再生中に ▶▶| ボタンを押し続ける

- ▶▶| ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.52）。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶| ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

再生中に |◀◀ ボタンを押し続ける

- |◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.52）。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに |◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

再生中に ▶▶I ボタンを押す

• 次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを押す

• 再生中のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す

• 1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

• 再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中にインデックスマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.52)。
• [**スキップ間隔**] が [**ファイルスキップ**] 以外に設定されている場合（☞ P.101)、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を始めます。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビット数、ビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは下記のとおりです。

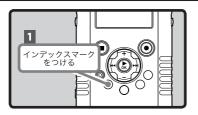
ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式	44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz	16 bit または 24 bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで

• 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
• WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
• 本機で再生可能なファイル形式であっても、全てのエンコーダに対応しているわけではありません。

インデックスマークをつける

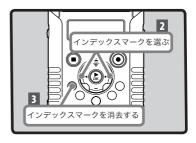
インデックスマークをつける

インデックスマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。本機での PCM 録音中および、本機で録音した PCM ファイルのみにインデックスマークをつけることができます。

> • インデックスマークをつけるには、**Fn** ボタンに [**インデックス**] 機能を登録する必要があります (☞ P.118)。

1 インデックスマークをつける位置で、Fn ボタンを押す

• サブ LCD に番号が表示されインデックスマークがつきます。

• インデックスマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で他の場所にインデックスマークをつけることができます。

インデックスマークを消去する

1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する

2 再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいインデックスマークを選ぶ

3 サブ LCD にインデックス番号が表示されている間（約 2 秒間）に、ERASE ボタンを押す

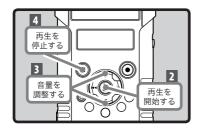
• インデックスマークが消去されます。

• 消去したインデックスマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- 録音または再生中はメイン LCD が消灯します。
- インデックスマークは 1 つのファイル内に最大で 16 件までつけることができます。16 件を超えてインデックスマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマークをつけたり消去することができません（☞ P.103）。
- 本機で撮影した動画ファイルや MP3 形式のファイルには、インデックスマークはつけられません。
- リピート再生中（☞ P.58）は、インデックスマークを消去することができません。
  リピート再生中に ERASE ボタンを押すと、トリミングモード（☞ P.64）になります。

動画を再生する

本機で撮影した動画ファイルを再生します。また、テレビと接続して大画面でハイビジョン動画をお楽しみいただけます。

1 再生する動画ファイルを選ぶ (☞ P.32)

2 ►OK ボタンを押して再生を開始する

- サブ LCD の［▶］が点灯します。

ⓐ ファイルの長さ
ⓑ ファイル番号
ⓒ レベルメーター
ⓓ 再生経過時間

3 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

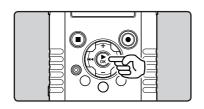
- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

4 STOP（■）ボタンを押して再生を停止する

- サブ LCD の［■］が点灯します。

ご注意

- 本機以外の機器で撮影した動画や、パソコンから取り込んだ動画ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- 本機で撮影した動画ファイルであっても、パソコンのソフトで編集すると、本機で正常に動作しない場合があります。

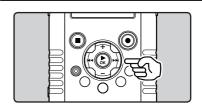
一時停止するには

再生中に ▶OK ボタンを押す

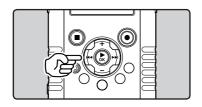
- メイン LCD の再生画面を一時停止します。
- サブ LCD の [■] が点灯します。

再生を再開するには：

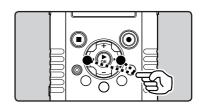
▶OK ボタンを押す

- 一時停止したところから再生を再開します。

早送りをするには

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

再生中に ⏮ ボタンを押し続ける

- ⏮ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ⏮ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

再生中に ⏭ ボタンを押す

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを押す

- 再生中のファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを 2 回押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。

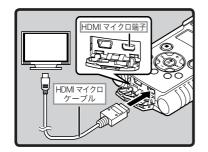
ご注意

- [**スキップ間隔**] が [**ファイルスキップ**] 以外に設定されている場合（☞ P.101）、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を始めます。

テレビで再生する

別売の HDMI マイクロケーブル（タイプ D：CB-HD1）を使ってハイビジョン対応のテレビに接続することができます。

> **!** 本機とテレビの電源を切ってから接続してください。

HDMI マイクロケーブルで接続する

1 テレビの HDMI 端子に HDMI マイクロケーブルを接続する

2 本機の HDMI マイクロ端子に HDMI マイクロケーブルを接続する

3 テレビの電源を入れて、入力切り替えを [**HDMI 入力**] に切り替える

4 本機の電源を入れる

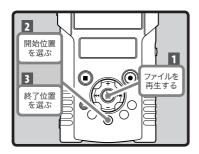
5 再生する動画ファイルを選ぶ (☞ P.32)

6 ►OK ボタンを押して再生を開始する

ご注意

- 国と地域によりテレビの映像信号が異なります。お使いのテレビに合わせて本機の［**HDMI 設定**］で出力信号設定を変更してください (☞ P.122)。
- テレビの入力切り替えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機側は HDMI マイクロ端子、テレビ側はテレビの HDMI 端子に合った HDMI ケーブルをご使用ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- HDMI ケーブルの接続中は録音／撮影できません。
- 他の HDMI 出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- USB ケーブルで本機をパソコンと接続している場合は、HDMI ケーブルを本機に接続しないでください。
- HDMI ケーブルと接続中はメイン LCD は表示されません。
- サンプリングレート 96kHz と 88.2kHz の音声出力に対応している TV に接続した場合、音声は TV からのみ出力され、本機のスピーカーおよびヘッドフォンからは出力されません。
- サンプリングレート 96kHz と 88.2kHz の音声出力に対応していない TV に接続した場合は、本機のスピーカーおよびヘッドフォンからのみ音声が出力されます（TV からは出力されません)。

部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。

1 部分リピートしたいファイルを選び、再生を開始する

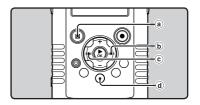
2 部分リピート再生の開始位置で、A-B REPEAT ボタンを押す

- サブ LCD の［A］が点滅します。

- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように早送り・早戻し（☞ P.50）が行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 A-B REPEAT ボタンを押す

- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

部分リピート再生を解除する

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **►OK または STOP（■）ボタンを押す**
►OK または **STOP**（■）ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

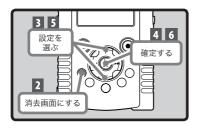
ⓑ **►►I ボタンを押す**
►►I ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓒ **I◄◄ ボタンを押す**
I◄◄ ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓓ **A-B REPEAT ボタンを押す**
A-B REPEAT ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、そのまま再生が継続します。

消去する

ファイルを消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。

1 消去したいファイルを選ぶ
(☞ P.32)

(☞ P.32)

2 ファイル表示画面で停止中に
ERASE ボタンを押す

- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 ＋または－ボタンを押して
［1 件消去］を選ぶ

4 ►OK ボタンを押す

5 ＋ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

6 ▶OK ボタンを押す

- メイン LCD が［**消去中！**］にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

フォルダ内のファイルを全て消去する

選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

1 消去したいフォルダを選ぶ
(☞ P.32)

2 停止中に ERASE ボタンを押す

- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 **+**または**−**ボタンを押して［**フォルダ内消去**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

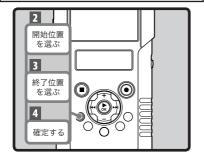
5 **+** ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

6 ▶OK ボタンを押す

- メイン LCD が［**消去中！**］にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

ファイルを部分消去する

ファイルの不要な部分を消去できます。

> 部分消去をする前に、あらかじめオリジナルのファイルをコピーしておくことをお勧めします（☞ P.106、P.134）。

1 部分消去したいファイルを再生する

- 消去したい位置までファイルを進めます。ファイルが長い場合、▶▶I ボタンを使って部分消去したい位置まで進めます。

2 部分消去の開始位置で ERASE ボタンを押す

- サブ LCD の［**部分消去**］が点滅します。
- ［**部分消去**］点滅中も再生は続き、通常の再生中と同じように 早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進めることができます。表示の点滅中にファイルが終わりまで到達した場合、そこが消去終了位置になります。

3 部分消去を終了したい位置でもう一度 ERASE ボタンを押す

- サブ LCD の［**消去開始位置**］と［**消去終了位置**］が交互に点滅します。

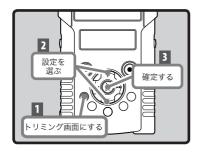
4 ERASE ボタンを押す

- サブ LCD が［**部分消去中 !**］にかわり、消去を開始します。［**部分消去しました**］と表示されたら終了です。
- 部分消去完了位置で再生が停止します。
- 8 秒以内に **ERASE** ボタンを押さないと部分消去が解除されて停止状態に戻ります。

ご注意

- 部分消去は、本機で録音または撮影したファイルのみ可能です。
- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- 部分消去を行ってもファイルの作成日時は変わりません。
- 動画ファイルの部分消去では、選択した開始位置と終了位置が最大約１秒ずれることがあります。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P.103)。
- 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルは消去されません。パソコンに接続して消去してください。
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。データが破損するおそれがありますので、処理中に電池が切れることがないように、AC アダプタを接続するか、電池残量を十分に確認してください。また、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。
  ① 処理中に AC アダプタを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 処理中にカードを取り外す。
- 音声ファイルの部分消去には、SD カード内に部分消去するファイル以上空き容量が必要です。

ファイルのトリミングについて

部分リピート再生で指定した範囲外の記録内容を消去するトリミング機能です。
ファイルのトリミングを行うには、部分リピート再生（☞ P.58）の手順 1 ～ 3 を設定してください。

1 部分リピート再生中（☞ P.58）に ERASE ボタンを押す

- ［**トリミング**］画面に入ります。

2 ＋ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 ▶OK ボタンを押す

- メイン LCD が［**トリミング中！**］にかわり、トリミングを開始します。［**選択範囲外を消去しました**］と表示されたら終了です。

ご注意

- トリミングは、本機で録音または撮影したファイルのみ可能です。
- 一度トリミグしたファイルは元に戻せません。トリミングの前に十分確認してください。
- トリミングを行ってもファイルの作成日時、更新日時は変わりません。
- 動画ファイルのトリミングでは、選択した開始位置と終了位置が最大約１秒ずれることがあります。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルはトリミングできません（☞ P.103)。
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。データが破損するおそれがありますので、処理中に電池が切れることがないように、AC アダプタを接続するか、電池残量を十分に確認してください。また、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。
  ① 処理中に AC アダプタを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 処理中にカードを取り外す。
- 音声ファイルのトリミングには、SD カード内にトリミングするファイル以上空き容量が必要です。

メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

1 停止中に、MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります。

2 ＋または－ボタンを押して設定したい項目のあるタブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- ►►I ボタンを押しても操作できます。

4 ＋または－ボタンを押して設定項目を選ぶ

5 ►OK ボタンを押す

- 選んだ項目の設定に移動します。
- ►►I ボタンを押しても操作できます。

6 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

• 設定が確定されたことを画面でお知らせします。

• **▶OK** ボタンを押さずに **I◀◀** ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1 つ前の画面に戻ります。

8 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

• 停止中からの設定では、3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。

メニューの一覧 🎙 🎥

選択肢欄の ▒▒ 表記は初期設定です。

■ 録音に関するメニュー設定：🎙 🎥

設定タブ	設定項目	選択肢
録音設定 [Rec Menu]	**マイク感度** [Mic Sense] ☞ P.72	[**高**][**低**]
	録音モード * [Rec Mode] ☞ P.73	[**PCM**][**MP3**] 録音形式ごとに録音レートを設定できます。
	録音レベル [Rec Level] ☞ P.75	[**マニュアル**][**オート**]
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ☞ P.77	[**OFF**][**100Hz**][**300Hz**]
	セルフタイマー [Self Timer] ☞ P.78	[**OFF**][**beep 5sec**][**beep 12sec**][**metalic5sec**][**metalic12sec**]
	録音モニター [Rec Monitor] ☞ P.80	[**ON**][**OFF**]
	プラグインパワー [Plug-inPower] ☞ P.81	[**ON**][**OFF**]
	入力ジャック [Input Jack] ☞ P.82	[**マイク**][**ライン**]
	音声同期録音 * [V-Sync. Rec] ☞ P.83	[**OFF**][**1 秒**] **2 秒**][**3 秒**][**4 秒**][**5 秒**][**10 秒**]

*[**録音モード**]、[**音声同期録音**] は動画モード（🎥）では設定できません。

■ 動画撮影に関するメニュー設定：🎥

設定タブ	設定項目	選択肢
録画設定 [Recording Settings]	**画質** [Image Quality] ☞ P.85	[**1920 × 1080 30fps**] [**1280 × 720 30fps**] [**640 × 480 30fps**] 画質ごとに録音レートを設定できます。
	メイン LCD 表示 [Main LCD Display] ☞ P.87	[**ON**][**OFF**]

■ 動画撮影に関するメニュー設定：（つづき）

設定タブ	設定項目	選択肢
録画設定 [Recording Settings]	**反転録画** * [Reverse Angle Recording] ☞ P.88	[**ON**][**OFF**]
	マジックムービー * [Magic Movie] ☞ P.89	[**ON**]： [**ROCK**][**POP**][**PIN HOLE**] [**SKETCH**][**WATERCOLOR**] [**OFF**]
	手振れ補正 * [Image Stabilizer] ☞ P.91	[**ON**][**OFF**]
	測光方式 * [Metering] ☞ P.92	[**多分割測光**][**スポット測光**]
	ホワイトバランス * [White Balance] ☞ P.93	[**オート**][**晴れ**][**曇り**] [**蛍光灯**][**白熱灯**][**ワンプッシュ**]
	露出補正 * [Exposure Comp.] ☞ P.95	[**-2.0**]から[**+2.0**]まで 1/3EV 刻みに調整できます。
	高感度モード * [High ISO Mode] ☞ P.96	[**標準**][**高感度**]

*[**録画設定**] の各メニューは音声モード（）では設定できません。

■ 再生に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
再生設定 [Play Menu]	**再生モード** [Play Mode] ☞ P.97	[**ファイル**][**ファイルリピート**] [**フォルダ**][**フォルダリピート**] [**全ファイル**][**全ファイルリピート**]
	イコライザー [Equalizer] ☞ P.98	[**OFF**][**ROCK**][**POP**][**JAZZ**] [**USER**]
	ビジュアライザ * [Visualizer] ☞ P.100	[**OFF**][**Equalizer**][**Run!**] [**Pink Line**][**Mysterious Tree**] [**Rainy Blue**]
	スキップ間隔 [Skip Space] ☞ P.101	[**スキップ**]： [**ファイルスキップ**][**10 秒**][**30 秒**] [**1 分**][**5 分**][**10 分**] [**逆スキップ**]： [**ファイルスキップ**][**10 秒**][**30 秒**] [**1 分**][**5 分**][**10 分**]

*[**ビジュアライザ**] は動画モード（）では設定できません。

■ ファイルに関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
ファイル設定 [File Menu]	**ファイルロック** [Erase Lock] ☞ P.103	[**ON**][**OFF**]
	並び替え [Replace] ☞ P.105	フォルダ内のファイルを並び替えて再生順序を変更できます。
	ファイル移動／コピー [File Move/Copy] ☞ P.106	メモリ内のフォルダ間でファイルの移動とコピーが行えます。
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.108	本機で録音したファイルを分割することができます。
	プロパティ [Property] ☞ P.110	ファイルを選んだ場合： [**名前**][**日時**][**サイズ**] [**ファイル長さ**][**ファイル形式**] [**アーティスト**][**アルバム**] フォルダを選んだ場合： [**名前**][**日時**]

■ ディスプレイや音に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
表示／音設定 [LCD/Sound Menu]	**メイン LCD** [Main LCD] ☞ P.112	[**輝度**]： [**1**] ～ [**3**] ～ [**5**]
	サブ LCD [Sub LCD] ☞ P.113	[**コントラスト**]： [**01**] ～ [**06**] ～ [**12**] [**バックライト**]： [**OFF**][**5 秒**][**10 秒**][**30 秒**] [**60 秒**][**常時点灯**]
	LED [LED] ☞ P.114	[**ON**][**OFF**]
	ビープ音 [Beep] ☞ P.115	[**ON**][**OFF**]
	言語選択 (Lang) [Language(Lang)] ☞ P.116	[**日本語**][**English**]

■ 本機に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
本体設定 [Device Menu]	**オートパワーオフ** [Auto Power Off] ☞ P.117	**[5分] [10分] [30分] [1時間] [OFF]**
	時計設定 [Time & Date] ☞ P.24	**[時] [分] [年] [月] [日]**
	Fnキー設定 [Fn Setting] ☞ P.118	**[OFF] [インデックス] [録音モード] [録音レベル] [再生モード] [イコライザー] [プロパティ] [ライト] [画質] [反転録画] [マジックムービー] [ホワイトバランス] [露出補正]**
	USB設定 [USB Settings] ☞ P.120	**[USB接続]**： **[PC接続] [ACアダプタ接続] [毎回確認]** **[USBクラス]**： **[ストレージ] [PCカメラ]**
	HDMI設定 [HDMI] ☞ P.122	**[480p/576p] [720p優先] [1080i優先]**
	設定リセット [Reset Settings] ☞ P.123	メニュー設定を初期設定に戻します。
	初期化 [Format] ☞ P.125	メモリを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] ☞ P.127	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] ☞ P.128	**[モデル] [バージョン] [シリアル番号]**

マイク感度の設定 [Mic Sense]

目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えられます。

> [**マイク感度**] は [**低**]、[**録音レベル**] は [**マニュアル**] ／ [**リミッター ON**] に初期設定されています。良い音で録音するには、録音レベルのマニュアル調整が必要です。調整のしかたは ☞ P.35-36、P.76 をご覧ください。

1 停止中に MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.66）。

2 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**録音設定**］画面に入ります。

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**マイク感度**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**高**］または［**低**］を選ぶ

［**高**］：
周囲の音も録音できる高感度モードです。

［**低**］：
通常のマイク感度です。バンドの演奏など音源の音量が大きい場合に選びます。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ マイク感度表示

ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**マイク感度**］を［**低**］に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

録音モードの設定［Rec Mode］

CD レベル以上の音質で記録できるリニア PCM 形式と、ファイルを高圧縮で保存できる MP3 形式の録音に対応しています。音質を重視して録音したり録音時間を重視して録音できます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

1 マイク感度の設定［Mic Sense］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で[録音設定]画面に入ります（☞ P.72）

2 ＋または－ボタンを押して［録音モード］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**録音モード**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して録音モードを選ぶ

4 録音設定

[PCM]：
音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。
[MP3]：
ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が制定した国際規格です。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押す

例：［**PCM**］を選んだ場合

6 ＋または－ボタンを押して録音レートを選ぶ

[PCM］を選んだ場合：
［**96 kHz/24 bit**］
［**88.2 kHz/24 bit**］
［**48 kHz/16 bit**］
［**44.1 kHz/16 bit**］
[MP3］を選んだ場合：
［**320 kbps**］
［**256 kbps**］

- サンプリングレートやビット数、ビットレートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 録音形式を MP3 形式にした場合、サンプリングレートは 44.1 kHz で符号化処理されます。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 本機が動画モード（🎥）のときは［**録音モード**］の設定は反映しません。動画モードで録音モードを設定するには、［**録画設定**］の［**画質**］設定で行います（☞ P.85）。

録音レベルの設定 [Rec Level]

録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。

> [**マイク感度**] は [**低**]、[**録音レベル**] は [**マニュアル**] ／ [**リミッター ON**] に初期設定されています。良い音で録音するには、録音レベルのマニュアル調整が必要です。調整のしかたは ☞ P.35-36、P.76 をご覧ください。

1 **マイク感度の設定［Mic Sense］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で[録音設定] 画面に入ります**（☞ P.72）

2 **＋または－ボタンを押して［録音レベル］を選ぶ**

3 **►OK ボタンを押す**

- ［**録音レベル**］画面に入ります。

4 **＋または－ボタンを押して［マニュアル］または［オート］を選ぶ**

［**マニュアル**］：録音レベルを 31 段階に調整して録音します。（引き続き手順 5 ～手順 8 を操作してください）。

［**オート**］：録音レベルを自動で調整して録音します。すぐに録音するときに便利です（引き続き手順 7 および手順 8 を操作してください）。

5 **►OK ボタンを押す**

6 **＋または－ボタンを押して［リミッター ON］または［リミッター OFF］を選ぶ**

4

録音設定

［**リミッター ON**］：
リミッターが機能し、録音時のマイク入力の過入力による歪みを防ぎます。
［**リミッター OFF**］：
リミッターが機能しません。マイク入力の過入力時は音が歪みます。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ リミッター表示

録音レベルを調整する

1 録音、撮影中または一時停止中に、⏭ または ⏮ ボタンを押して録音レベルを調整する

ご注意

- ［**録音レベル**］が［**オート**］の場合、録音レベルは自動的に調整されます。録音レベル調整機能を使用する場合は、［**録音レベル**］を［**マニュアル**］にしてください。
- 本機は［**オート**］に設定するとリミッター機能がありません。大きな音を出したときに、録音中にレベルメーターが右いっぱいまで振り切れてしまったり、PEAK/LED 表示ランプが赤く点灯した場合、録音レベルが高すぎるために音が歪んだ状態で録音されます。
録音レベルを調整しても音の歪みが消えない場合は、マイク感度（☞ P.72）の設定を変更して、もう一度録音レベルを調整してください。
- あまりにも大きな音を入力すると、［**録音レベル**］を［**オート**］や［**リミッター ON**］に設定していてもノイズが発生することがあります。
- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

ローカットフィルタの設定 [Low Cut Filter]

録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

1 マイク感度の設定［Mic Sense］の手順 1 〜 2 と同様の操作で[**録音設定**]画面に入ります（☞ P.72）

2 **+**または**−**ボタンを押して［**ローカットフィルタ**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**ローカットフィルタ**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して［OFF］、［100Hz］または［300Hz］を選ぶ

［**OFF**］: ローカットフィルタは機能しません。
［**100Hz**］: エアコンやプロジェクターの付近などで発生するノイズを軽減する機能です。屋内で録音するときに効果があります。
［**300Hz**］: [**100Hz**] の設定で効果が十分に得られない場合におためしください。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ ローカットフィルタ表示

ご注意

- ［**入力ジャック**］の設定が［**ライン**］の場合、ローカットフィルタは機能しません（☞ P.82）。

セルフタイマーの設定 [Self Timer]

REC (●) ボタンを押した後、時間を空けて録音または撮影を開始するセルフタイマー機能です。録音または撮影の目的に合わせて設定できます。

1 マイク感度の設定［Mic Sense］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で[**録音設定**]画面に入ります（☞ P.72）

2 ＋またはーボタンを押して［**セルフタイマー**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**セルフタイマー**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して設定を選ぶ

［**OFF**］: セルフタイマーは機能しません。
［**beep 5sec**］: 5 秒前からビープ音が鳴り PEAK/LED 表示ランプが点滅します。録音または撮影が開始される 3 秒前から点滅が速くなります。
［**beep 12sec**］: 12 秒前からビープ音が鳴り PEAK/LED 表示ランプが点滅します。録音または撮影が開始される 3 秒前から点滅が速くなります。
［**metalic5sec**］: 5 秒前からリズムカウント音が鳴り PEAK/LED 表示ランプが点滅します。録音または撮影が開始される 3 秒前から点滅が速くなります。
［**metalic12sec**］: 12 秒前からリズムカウント音が鳴り PEAK/LED 表示ランプが点滅します。録音または撮影が開始される 3 秒前から点滅が速くなります。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ セルフタイマー表示

ご注意

- 動作中のセルフタイマーを中止するには **STOP** (■) ボタンを押します。
- セルフタイマーは撮影のたびに設定しなおしてください。
- [**LED**] の設定が [**OFF**] の場合､セルフタイマー動作中の LED 点滅は行われません。セルフタイマーの設定時間になると自動的に録音または撮影を始めます（☞ P.114）。
- [**ビープ音**] の設定が [**OFF**] の場合、セルフタイマー動作中の音はなりません。セルフタイマーの設定時間になると自動的に録音または撮影をはじめます（☞ P.115）。

録音モニターの設定［Rec Monitor］

録音中の音声をイヤホンジャックから出力する／しないを選べます。

1 マイク感度の設定［Mic Sense］の手順１～２と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.72）

2 ＋または−ボタンを押して［**録音モニター**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**録音モニター**］画面に入ります。

4 ＋または−ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］：
録音モニターが機能します。**EAR** ジャックから音声を出力します。

［**OFF**］：
録音モニターは機能しません。**EAR** ジャックから音声を出力しません。

- **I◄◄** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします。

外部マイクの電源供給を設定する［Plug-inPower］

プラグインパワー機能に対応した外部マイクをご使用できます。外部マイクに電源を供給する／しないを設定できます。

1 マイク感度の設定［Mic Sense］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.72）

2 ＋または－ボタンを押して［**プラグインパワー**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**プラグインパワー**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］：
プラグインパワーが機能します。接続した外部マイクに電源を供給します。プラグインパワー対応の外部マイクを接続した場合に選びます（☞ P.40）。

［**OFF**］：
プラグインパワーは機能しません。プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合に選びます。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ［**入力ジャック**］の設定が［**ライン**］の場合、は［**プラグインパワー**］は機能しません（☞ P.82）。
- プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合、プラグインパワー機能を［**OFF**］にしてください。録音時にノイズが出るおそれがあります。
- プラグインパワー機能を［**ON**］にしてもファンタム電源の供給はできません。

4 録音設定

入力ジャックの設定 [Input Jack]

本機の **MIC** ジャックを外部マイクと接続するか、外部機器のライン入力として接続するかを設定できます。

1 マイク感度の設定［Mic Sense］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.72）

2 ＋または－ボタンを押して［**入力ジャック**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**入力ジャック**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**マイク**］または［**ライン**］を選ぶ

［**マイク**］：
外部マイクを接続するときに設定します。
［**ライン**］：
外部機器とライン入力で接続するときに設定します。

- **I◄◄** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ［**入力ジャック**］の設定が［**ライン**］の場合、ローカットフィルタは機能しません（☞ P.77）。

音声同期録音の設定 [V-Sync. Rec]

音声同期録音は、設定した音声同期レベル（検出レベル）よりも大きな音声を感知すると自動的に録音を開始し、音声が小さくなると自動的に録音を停止する機能です。音声同期録音の設定中は、音声同期レベル（検出レベル）以下の入力が、設定した検出時間以上経過すると、本機が現在の動作を停止し、新しいファイルで待機状態になります。

1 マイク感度の設定［Mic Sense］の手順 1 ～ 2 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.72）

2 ＋または－ボタンを押して［音声同期録音］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**音声同期録音**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

［**OFF**］：機能しません。通常の録音に戻ります。
［**1 秒**］［**2 秒**］［**3 秒**］［**4 秒**］［**5 秒**］［**10 秒**］：
検出時間を設定します。規定レベル以下の入力（録音レベル）が設定した検出時間以上続くと、本機が現在の動作を停止し、新しいファイルで待機状態になります。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ 音声同期録音表示

音声同期レベルの調整をして録音する

1 REC（●）ボタンを押して録音の準備をする

- ［**録音レベル**］の設定が［**オート**］の場合は、手順４に進んでください。
- ［**録音レベル**］の設定が［**マニュアル**］の場合は、［**録音レベル確定？**］が点滅します。

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると録音レベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

3 ▶OK ボタンを押す

- 音声同期レベルの設定に移ります。
- **▶OK** ボタンを押すたびに録音レベルと音声同期レベルの設定が切り替わります。

4 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声同期レベルを調整する

- サブ LCD に音声同期レベルを 15 段階で表示します。
- 数字が大きくなるほど起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。
- **▶OK** ボタンを押すと録音レベルの設定に戻ります。

ⓐ 音声同期レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）

5 もう一度 REC（●）ボタンを押す

- 録音待機中となります。サブ LCD に［**待機中**］が点滅し、録音／撮影表示ランプが点滅します。
- 音声同期レベル以上の入力があると、自動的に録音を開始します。

6 音声同期録音が自動的に停止します

- 音声同期レベル以下の音が設定時間以上続くと録音が自動的に終了し、手順 5 の録音待機状態に戻ります。待機状態になるたびにファイルは閉じられ、別ファイルで録音されていきます。
- 音声同期録音を途中で止める場合、**STOP**（■）ボタンを押してください。

録画設定［Recording Settings］

撮影サイズの設定 [Image Quality]

撮影する動画の画質（画面サイズ）を設定します。用途に合わせて画質モードを選択できます。画質の設定と同時に撮影時の音質も設定できます。

1 停止中に MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.66）。

（☞ P.66）

2 ＋または－ボタンを押して［録画設定］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**録画設定**］画面に入ります。

4 ▶OK ボタンを押す

- ［**画質**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して画面サイズを変更する

［**1920 × 1080 30fps**］
［**1280 × 720 30fps**］
［**640 × 480 30fps**］

- 撮影サイズ（ピクセル数）は数値が大きいほど細かな撮影が可能ですが、ファイルサイズが大きくなります。使用目的に応じた画質に設定してください。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

6 ▶OK ボタンを押す

例：［**1920 × 1080 30fps**］を選んだ場合

7 ＋または－ボタンを押して録音レートを選ぶ

［1920 × 1080 30fps］を選んだ場合：
［**PCM 96 kHz/24 bit**］
［**PCM 88.2 kHz/24 bit**］
［**PCM 48 kHz/16 bit**］
［**PCM 44.1 kHz/16 bit**］

［1280 × 720 30fps］を選んだ場合：
［**PCM 96 kHz/24 bit**］
［**PCM 88.2 kHz/24 bit**］
［**PCM 48 kHz/16 bit**］
［**PCM 44.1 kHz/16 bit**］

［640 × 480 30fps］を選んだ場合：
［**MP3 320 kbps**］
［**MP3 256 kbps**］

- PCM は、音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。
- MP3 は、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が制定した国際規格です。
- サンプリングレートやビット数、ビットレートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- 動画サイトへアップロードする場合の画面サイズは、［**640 × 480 30fps**］の MP3 形式に設定することをお薦めします。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

9 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 動画モード（🎥）では、[**画質**] で設定した録音レートで音声の録音を行います。[**録音設定**] の [**録音モード**] で設定した内容は反映されません（☞ P.73）。

4
録画設定

メイン LCD 表示の設定 [Main LCD Display]

使用する場所や環境に合わせて撮影時のメイン LCD を表示／非表示の設定ができます。
撮影時に LCD 表示を消灯することで電池寿命を延ばすことができます。

1 画質の設定［Image Quality］の手順１～３と同様の操作で［**録画設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋または－ボタンを押して［**メイン LCD 表示**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**メイン LCD 表示**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］：
撮影時もメイン LCD を表示します。
［**OFF**］：
撮影時はメイン LCD が消灯します。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- LCD 表示を消灯させて撮影する場合は、三脚をお使いになるか、安定した平らな場所に置いて撮影してください。

反転録画を設定する [Reverse Angle Recording]

反転録画を設定すると本機を裏返しにして撮影することができます（☞ P.46）。

1 画質の設定［Image Quality］の手順１～３と同様の操作で[**録画設定**]画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋または－ボタンを押して［**反転録画**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**反転録画**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］：
反転録画が機能します。
［**OFF**］：
反転録画は機能しません。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 撮影終了後は自動的に設定が [**OFF**] に戻ります。引き続き反転録画を行う場合は、もう一度設定してください。

マジックムービーの設定［Magic Movie］

5 種類のフィルター機能で、動画撮影の際に多彩な演出が手軽に楽しめます。動きのあるシーンや特別なひとときを、楽しく個性的に残せます。

1 画質の設定［Image Quality］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**録画設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋またはーボタンを押して［**マジックムービー**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**マジックムービー**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］：
マジックムービーの種類を選べます（引き続き手順 5 〜手順 8 を操作してください）。

［**OFF**］：
マジックムービーは機能しません（引き続き手順 7 〜手順 8 を操作してください）。

5 ▶OK ボタンを押す

- ［**ON**］を選んだ場合、［**マジックムービー**］画面に入ります。

6 ＋またはーボタンを押して設定を選ぶ

- ［**ROCK**］、［**POP**］、［**PIN HOLE**］、［**SKETCH**］、［**WATERCOLOR**］からお好みのマジックムービーを設定します。
- ［**ROCK**］を選んだ場合は、［**1**］〜［**3**］の効果を設定できます。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- マジックムービー設定を行うと特殊効果で演出された動画が記録されます。そのため、特殊効果で演出される前のオリジナルの動画は記録されません。
- 特殊効果を後から入れたり、削除することはできません。
- 特殊効果を適応させない通常の撮影を行う場合は、撮影前に [**マジックムービー**] 設定が [**OFF**] になっていることを確認してください。
- [**マジックムービー**] の設定が [**PIN HOLE**] の場合は、ズームを使用できません。

手振れ補正の設定 [Image Stabilizer]

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。

1 画質の設定［Image Quality］の手順1～3と同様の操作で［**録画設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋または－ボタンを押して［**手振れ補正**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**手振れ補正**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］:
手振れ補正機能を使って撮影する。

［**OFF**］:
手振れ補正機能なしで撮影する
(三脚使用時などカメラを固定して撮影するときに設定します)。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ 手振れ補正表示

ご注意

- 手振れが大きすぎると、補正しきれないときがあります。

4 録画設定

測光方式の設定 [Metering]

本機はデジタル多分割測光とスポット測光の測光方式を備えています。撮影するシーンに応じて設定してください。

1 画質の設定［Image Quality］の手順１～３と同様の操作で[**録画設定**]画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋または－ボタンを押して［**測光方式**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**測光方式**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**多分割測光**］または［**スポット測光**］を選ぶ

［**多分割測光**]:
画面全体で明るさのバランスのとれた撮影をします（画面の中央と周辺を個別に測光します)。

［**スポット測光**]:
逆光のとき中央の被写体を撮影します（画面の中央部分を測光します)。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ 測光方式表示

ご注意

- ［**多分割測光**］のとき、強い逆光下での撮影では、中央が暗く写ることがあります。

ホワイトバランスを設定する ［White Balance］

撮影シーンに応じたホワイトバランスを設定し、より自然な色合いで撮影できます。

1 画質の設定［Image Quality］の手順１～３と同様の操作で［**録画設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋またはーボタンを押して［**ホワイトバランス**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**ホワイトバランス**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して設定を変更する

［AUTO WB］オート：
撮影シーンに応じてカメラが自動的に調整します。

［☀］晴れ：
晴れた屋外で撮影します。

［☁］曇り：
曇った屋外で撮影します。

［蛍光灯アイコン］蛍光灯：
昼光色の蛍光灯の灯り（家庭用照明器具など）で撮影します。

［白熱灯アイコン］白熱灯：
白熱電球の灯り（オフィスなど）で撮影します。

［ワンプッシュアイコン］ワンプッシュ：
レンズを白紙などの白い物に向けて、ホワイトバランスを設定します。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ ホワイトバランス表示

［ワンプッシュ］を選んだ場合：

① レンズを白い紙に向ける。
- 紙を画面いっぱいに写るように置き、影の部分ができないようする。

②▶OK ボタンを押す。
- ホワイトバランスが設定されます。

ご注意

- 登録されたホワイトバランスは、本機に記憶されます。電源を切っても消去されません。

露出補正を設定する［Exposure Comp.］

撮影モードで、本機が調節した標準的な明るさ（適正露出）を、撮影意図に応じて明るくしたり暗くしたりできます。

1 画質の設定［Image Quality］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［録画設定］画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋または－ボタンを押して［露出補正］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**露出補正**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンで露出を調整する

- [**-2.0**] から [**+2.0**] まで 1/3 刻みに調整できます。
- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ 露出補正表示

ご注意

- 設定した内容は電源を切っても記憶されたまま残ります。撮影を始める前に設定を確認してください。

撮影感度を選ぶ［High ISO Mode］

撮影感度を設定します。

1 画質の設定［Image Quality］の手順1～3と同様の操作で［**録画設定**］画面に入ります（☞ P.85）

2 ＋または－ボタンを押して［**高感度モード**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**高感度モード**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**標準**］または［**高感度**］を選ぶ

［**標準**］:
撮影シーンに応じて本機が自動的に調整します。

［**高感度**］:
手ぶれ、被写体ぶれを軽減するために、自動的に［**標準**］よりも高い感度に本機が調整します。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録画設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ［**高感度**］に設定すると、撮影環境によってノイズが増える場合があります。

▷ 再生設定［Play Menu］

再生モードを選ぶ ［Play Mode］

お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

1 停止中または再生中に MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.66）。
- 再生中に **MENU** ボタンを押した場合は、［**再生設定**］のメニューを表示し、手順４からの操作となります。

2 ＋または－ボタンを押して［再生設定］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［再生モード］を選び ▶OK ボタンを押す

- ［**再生モード**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して設定したい再生モードを選ぶ

［**ファイル**］：
　現在のファイルを再生後に停止。
［**ファイルリピート**］：
　現在のファイルを繰り返して再生。
［**フォルダ**］：
　現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止。
［**フォルダリピート**］：
　現在のフォルダ内の全ファイルを繰り返し連続再生。
［**全ファイル**］：
　選択しているモード内の全ファイルを連続再生して停止。
［**全ファイルリピート**］：
　選択しているモード内の全ファイルを繰り返し連続再生。

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

4
▷ 再生設定

6 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

7 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ 再生モード表示

ご注意

- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、サブ LCD に［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、サブ LCD に［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- ［**全ファイル**］に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を開始します。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、サブ LCD に［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、本機内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

イコライザーの設定［Equalizer］

イコライザーの設定をかえると、お好みの音質で音楽を楽しめます。

1 再生モードの設定［Play Mode］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.97）

2 ＋または－ボタンを押して［**イコライザー**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**イコライザー**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押してイコライザー特性を選ぶ

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押す

- ［**USER**］を選ぶと、独自にイコライザーの設定を登録できます。
  (引き続き手順 6 〜手順 8 を操作してください)。
- ［**USER**］を選び ▶▶I ボタンを押すと、［**USER**］画面に入ります。

6 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して周波数帯域を選ぶ

- ［**60Hz**］［**250Hz**］［**1kHz**］［**4kHz**］［**12kHz**］の各周波数帯域ごとにレベルを設定できます。

7 ＋または－ボタンを押してレベルを設定する

- ［**－ 6**］から［**＋ 6**］までを 1dB 単位で設定できます。
- レベル数を大きくすると、その周波数帯域が強調されます。
- 他の周波数帯域を変更する場合、手順 6 と手順 7 を繰り返してください。

8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

9 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

ⓐ イコライザー表示

ビジュアライザの設定［Visualizer］🎙

ファイルの再生にあわせて､5 種類の映像(ビジュアライザ）を画面に表示します。音声と映像を一緒に楽しめます。

1 再生モードの設定［**Play Mode**］の手順１～３と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.97）

2 ＋または－ボタンを押して［**ビジュアライザ**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**ビジュアライザ**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

［**Equalizer**］［**Run!**］［**Pink Line**］［**Mysterious Tree**］［**Rainy Blue**］:
お好みのビジュアライザの種類を選べます。
［**OFF**］: ビジュアライザは機能しません。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ビジュアライザは音声モード（🎙）でのファイル再生時に機能します。

スキップ間隔の設定 [Skip Space]

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1 再生モードの設定［Play Mode］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.97）

2 ＋または－ボタンを押して［**スキップ間隔**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**スキップ間隔**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**スキップ**］または［**逆スキップ**］を選ぶ

［**スキップ**］：
設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

［**逆スキップ**］：
設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

5 ►OK ボタンを押す

- ［**スキップ**］または［**逆スキップ**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して設定をを選ぶ

［**スキップ**］を選んだ場合：
［**ファイルスキップ**］
［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］

［**逆スキップ**］を選んだ場合：
［**ファイルスキップ**］
［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**スキップ間隔**］画面に戻ります。

7 ►OK ボタンを押して設定を完了する

8 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 ►OK ボタンを押して再生を開始する

2 再生中に ►►I または I◄◄ ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマークがある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

ファイルロックの設定 [Erase Lock]

ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P.60）。

1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ（☞ P.32）

2 停止中に MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.66）。

3 ＋または－ボタンを押して［**ファイル設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

4 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

5 ►OK ボタンを押す

- ［**ファイルロック**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

［**ON**］：ファイルロックがかかります。
［**OFF**］：ファイルロックが解除されます。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

7 ►OK ボタンを押して設定を完了する

8 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、メイン LCD にアイコンが表示されます。

（音声モード）
ファイルリスト表示画面

（音声モード）
ファイルリスト表示画面

ⓐ ファイルロック表示

ファイルの並び替えをする [Replace]

フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選んでください。

1 ファイルを入れ替えたいフォルダを選ぶ（☞ P.32）

2 ファイルロックの設定［Erase Lock］の手順２～４と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.103）

3 ＋またはーボタンを押して［**並び替え**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

- 手順１で選んだフォルダ内のファイルがリスト表示されます。

5 ＋またはーボタンを押して移動したいファイルを選ぶ

6 ▶OK ボタンを押す

- カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

7 ＋またはーボタンを押して移動したい場所を選ぶ

8 ▶OK ボタンを押して移動を完了する

- 引き続き並び替えたいファイルがある場合、再度手順５～手順８の操作を行ってください。
- ▶**OK** ボタンを押さずに ⏮ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、１つ前の画面に戻ります。

9 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルの移動／コピー [File Move/Copy]

SD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。

1 あらかじめ移動またはコピーしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.32）

2 ファイルリスト表示画面で＋または－ボタンを押して、移動したいファイルを選ぶ

3 ファイルロックの設定［Erase Lock］の手順２～４と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.103）

4 ＋または－ボタンを押して［**ファイル移動／コピー**］を選ぶ

5 ►OK ボタンを押す

- ［**ファイル移動／コピー**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押してファイルの移動またはコピー方法を選ぶ

［**移動**］：
SD カード内の別のフォルダに移動します。
［**コピー**］：
SD カード内の別のフォルダにコピーします。

7 ►OK ボタンを押す

- ［**移動選択**］画面に入ります。
- 9 ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

8 ＋または－ボタンを押してファイルの移動またはコピー先のフォルダ選ぶ

9 ▶OK ボタンを押す

- サブ LCD に［**移動中です**］または［**コピー中です**］が表示され、移動またはコピーを開始します。その間は進行状況をパーセンテージで表示します。

- ［**移動しました**］または［**コピーしました**］と表示されたら終了です。

10 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ファイルの移動またはコピーは、本機で録音または撮影したファイルのみ可能です。
- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- 音声モード（ ）で、ファイル件数が 999 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- 動画モード（ ）で、ファイル件数が 9999 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- ファイルロック（☞ P.103）のかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。
- ［**Root**］フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。
- 動画モード（ ）では、［**DCIM**］フォルダ直下の［**ムービー *****］と［**EDIT**］フォルダに、ファイルの移動またはコピーができます。
- 音声モード（ ）では、［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］と［**ミュージック**］フォルダに、ファイルの移動またはコピーができます。

ファイルの分割をする［File Divide］

容量の大きいファイルや記録時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくすることができます。

> ファイルの分割をする前に、あらかじめオリジナルのファイルをコピーしておくことをお勧めします（☞ P.106、P.134）。

1 ファイル分割したい位置で停止させる
- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると早送り／早戻しします。
- 本機で録音した PCM 形式の音声ファイルの分割位置は、あらかじめインデックスマークをつけておくと便利です（☞ P.52）。

2 ファイルロックの設定［Erase Lock］の手順２～４と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.103）

3 ＋または－ボタンを押して［**ファイル分割**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

5 ＋または－ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

6 ▶OK ボタンを押す
- メイン LCD が［**分割中！**］にかわり、ファイル分割を開始します。［**分割しました**］と表示されたら終了です。

7 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ファイル分割は、本機で録音または撮影したファイルのみ可能です。
- 音声モード（🎙）で、ファイル件数が 999 件を超える場合は分割できません。
- ファイルロック（☞ P.103）がかかっているファイルは分割できません。
- 動画ファイルのファイル分割では、分割する位置が最大約 1 秒ずれることがあります。
- 分割後の音声ファイルは、前半部分のファイルは「**ファイル名 _1.wav**」、後半部分のファイルは「**ファイル名 _2.wav**」となります。
- 分割後の動画ファイルは、新しいファイル番号が付けられ [**DCIM**] フォルダ内の [**EDIT**] フォルダに保存されます。また、分割前のファイルは自動的に削除されます。
- 収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池や SD カードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 音声ファイルの分割には、SD カード内に分割するファイル以上空き容量が必要です。
- [**EDIT**] フォルダ内では、ファイルは分割できません。

ファイルやフォルダの情報を見る［Property］

メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

ファイルの情報を見る

1 情報を表示したいファイルを選ぶ (☞ P.32)

2 ファイルロックの設定［Erase Lock］の手順２～４と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります (☞ P.103)

3 ＋または－ボタンを押して［**プロパティ**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す
- ［**プロパティ**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して画面を切り替える

- ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ファイル長さ**］［**ファイル形式**］

6 情報を確認したら▶OK ボタンを押して［**プロパティ**］画面から出る

7 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

フォルダの情報を見る

1 情報を表示したいフォルダを選ぶ（☞ P.32）

2 ファイルロックの設定［**Erase Lock**］の手順２～４と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.103）

3 **＋**または**－**ボタンを押して［**プロパティ**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

- ［**プロパティ**］画面に入ります。

5 **＋**または**－**ボタンを押して画面を切り替える

- ［**名前**］［**日時**］が表示されます。

6 情報を確認したら▶OK ボタンを押して［**プロパティ**］画面から出る

7 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

表示／音設定［LCD/Sound Menu］

メイン LCD の設定 [Main LCD]

メイン LCD の輝度を 5 段階に調整できます。

1 停止中に MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.66）。

2 ＋または－ボタンを押して［表示／音設定］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**表示／音設定**］画面に入ります。

4 ►OK ボタンを押す

- ［**メイン LCD**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押してレベルを調整する

- ［**1**］から［**5**］の間で調整を行います。
- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

6 ►OK ボタンを押して設定を完了する

7 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

4 表示／音設定

サブ LCD の設定 [Sub LCD]

サブ LCD のバックライトの点灯時間設定とコントラストの調整ができます。

1 メイン LCD の設定［Main LCD］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります(☞ P.112)

2 ＋または－ボタンを押して［**サブ LCD**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**サブ LCD**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**コントラスト**］または［**バックライト**］を選ぶ

5 ►OK ボタンを押す

- ［**コントラスト**］または［**バックライト**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して設定を選ぶ

- サブ LCD の［**コントラスト**］または［**バックライト**］をそれぞれ設定できます。

［コントラスト］を選んだ場合：
［**01**］から［**12**］の間で調整を行います。
［バックライト］を選んだ場合：
［**OFF**］: バックライトは点灯しません。
［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**60 秒**］
［**常時点灯**］:
バックライトの点灯時間を設定します。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

7 ►OK ボタンを押して設定を完了する

8 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

LED の設定［LED］

PEAK/LED 表示ランプと録音／撮影表示ランプを点灯しないように設定できます。

1 メイン LCD の設定［**Main LCD**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります(☞ P.112)

2 **+**または**−**ボタンを押して［**LED**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**LED**］画面に入ります。

4 **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する

［**ON**］：
LED が点灯します。
［**OFF**］：
LED は点灯しません。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- [**LED**] の設定が [**OFF**] の場合、[**セルフタイマー**] 機能の LED は点灯しません。

ビープ音の設定 [Beep]

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を鳴らないように設定することもできます。

1 メイン LCD の設定［**Main LCD**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります(☞ P.112)

2 **＋**または**－**ボタンを押して［**ビープ音**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**ビープ音**］画面に入ります。

4 **＋**または**－**ボタンを押して設定を変更する

［**ON**］：
ビープ音が鳴ります。
［**OFF**］：
ビープ音が鳴りません。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ［**ビープ音**］の設定が［**OFF**］の場合、［**セルフタイマー**］機能の音は鳴りません。

言語の設定［Language(Lang)］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 メイン LCD の設定［**Main LCD**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります(☞ P.112)

2 ＋または－ボタンを押して［**言語選択（Lang)**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**言語選択（Lang)**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

本体設定［Device Menu］

電源を自動的に切る［Auto Power Off］

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、電源がオフになります。電源の切り忘れを防止できます。

1 停止中に MENU ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.66）。

2 ＋または－ボタンを押して［本体設定］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**本体設定**］画面に入ります。

4 ►OK ボタンを押す

- ［**オートパワーオフ**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して時間を設定する

［**5 分**］［**10 分**］［**30 分**］［**1 時間**］：
お好みの時間を設定してください。

［**OFF**］：
省電力モードは働きません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

6 ►OK ボタンを押して設定を完了する

7 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

Fn ボタンの設定 [Fn Setting]

Fn ボタンに機能を登録させると、ボタンを押すごとに登録した機能のメニュー設定や切り替え操作ができます。

ボタンに機能を登録させる

1 電源を自動的に切る［**Auto Power Off**］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります(☞ P.117)

2 ＋または－ボタンを押して［**Fn キー設定**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**Fn キー設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して、登録する機能を選ぶ

［**OFF**］:
　ボタンに機能を割り当てません。
［**インデックス**］
［**録音モード**］
［**録音レベル**］
［**再生モード**］
［**イコライザー**］
［**プロパティ**］
［**ライト**］
［**画質**］
［**反転録画**］
［**マジックムービー**］
［**ホワイトバランス**］
［**露出補正**］

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

4
本体設定

登録させた機能を呼び出す

1 Fn ボタンを押して、登録させた機能を呼び出す

• Fn ボタンを押すと、登録した機能のメニュー設定画面を表示します。

［**録音モード**］（☞ P.73）	［**PCM**］［**MP3**］（録音形式ごとに録音レートを設定できます。）
［**録音レベル**］（☞ P.75）	［**マニュアル**］［**オート**］（録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。［**録音レベル**］を［**マニュアル**］にした場合、さらにリミッター機能の設定が行えます。）
［**再生モード**］（☞ P.97）	［**ファイル**］［**ファイルリピート**］［**フォルダ**］［**フォルダリピート**］［**全ファイル**］［**全ファイルリピート**］
［**イコライザー**］（☞ P.98）	［**OFF**］［**ROCK**］［**POP**］［**JAZZ**］［**USER**］（［**USER**］を選ぶと、独自にイコライザーの設定を登録できます。）
［**プロパティ**］（☞ P.110）	ファイル選択時：［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ファイルの長さ**］［**ファイル形式**］フォルダ選択時：［**名前**］［**日時**］
［**ライト**］（☞ P.113）	［**ON**］［**OFF**］（**Fn** ボタンを押すたびに、サブ LCD のバックライトの点灯／消灯が切り替わります）
［**画質**］（☞ P.85）	画質（画面サイズ）と録音レートの設定が行えます。
［**マジックムービー**］（☞ P.89）	［**ON**］：［**ROCK**］［**POP**］［**PIN HOLE**］［**SKETCH**］［**WATERCOLOR**］［**OFF**］：
［**ホワイトバランス**］（☞ P.93）	［**AUTO オート**］［**☀ 晴れ**］［**曇り**］［**蛍光灯**］［**白熱灯**］［**ワンプッシュ**］
［**露出補正**］（☞ P.95）	［**-2.0**］から［**+2.0**］まで 1/3 刻みで調整できます。
［**反転録画**］（☞ P.88）	［**ON**］［**OFF**］

• 本機の動作中に Fn ボタンを押すと、登録した機能を実行します。

［**インデックス**］（☞ P.52）	Fn ボタンを押すたびに、インデックスマークがつけられます。

ご注意

• 登録させた機能が、［**録音モード**］、［**録音レベル**］、［**画質**］、［**反転録画**］、［**マジックムービー**］［**ホワイトバランス**］、［**露出補正**］、［**プロパティ**］の場合、本機の動作中に Fn ボタンを押しても機能しません。停止中に Fn ボタンを操作してください。
• 以下の機能は本機の動作中でも操作することができます。
  • ［**ライト**］、［**インデックス**］
• 以下の機能は再生中でも操作することができます。
  • ［**再生モード**］、［**イコライザー**］

4 本体設定

USB の設定［USB Settings］

パソコンと接続してファイルの送受信などを行う［**PC 接続**］や USB 接続 AC アダプタ（F-3AC）を接続して充電を行う［**AC アダプタ接続**］の設定のほかに、用途に合わせて USB クラスの切り替えが可能です。
また、本機を PC カメラ（☞ P.137）としてご使用になる場合の［**PC カメラ**］設定も搭載しています。

1 電源を自動的に切る［Auto Power Off］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［本体設定］画面に入ります
(☞ P.117)

2 ＋または－ボタンを押して［USB 設定］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す
- ［**USB 設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［USB 接続］または［USB クラス］を選ぶ

［**USB 接続**］:
パソコンと接続したときの設定をします。
［**USB クラス**］:
USB クラスの設定をします。

5 ▶OK ボタンを押す
- ［**USB クラス**］を選んだ場合、手順 8 の操作に進みます。

［USB 接続］を選んだ場合

6 ＋または－ボタンを押して接続時の設定を選ぶ

［**PC 接続**］:
パソコンに接続するときの設定です。ストレージまたは PC カメラとして接続されます。
［**AC アダプタ接続**］:
AC アダプタ（F-3AC ）に接続するときの設定です。
［**毎回確認**］:
USB 接続をするごとに接続方法を確認する設定です。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- ［**USB 接続**］を選んだ場合、
手順 10 の操作に進みます。

［USB クラス］を選んだ場合

8 ＋または－ボタンを押して接続時の働きを選ぶ

［**ストレージ**］:
パソコン側から外部記憶装置として認識されます。
［**PC カメラ**］:
パソコンと接続して、PC カメラとして使うときの設定です。

9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

10 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 外部記憶装置として初めてパソコンに接続すると、自動的に本機のドライバがパソコンにインストールされます。
- ［**USB 接続**］の設定が［**AC アダプタ接続**］の場合、パソコンに接続しても認識されません。
- パソコン側から外部記憶装置として認識されない場合、［**USB クラス**］の設定を［**ストレージ**］に切り替えてください。
- ［**PC カメラ**］に設定すると、パソコンでリムーバブルディスクとして認識されません。

HDMI の設定 [HDMI]

本機をテレビに接続して動画ファイルを再生する場合の設定です。

1 電源を自動的に切る［**Auto Power Off**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります
(☞ P.117)

2 ＋または－ボタンを押して［**HDMI 設定**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す
- ［**HDMI 設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して再生形式を選ぶ

［**480/576p**］［**720p 優先**］［**1080i 優先**］:
お使いにテレビに合わせて映像信号方式を選んでください。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 本機とテレビの接続については ☞ P.57 をご覧ください。
- ［**1080i 優先**］に設定すると、1080i 形式を優先して HDMI 出力されますが、テレビ側の入力設定が適合しない場合は、信号形式が［**720p 優先**］、［**480/576p**］の順で変更されます。テレビの入力設定については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- USB ケーブルで本機をパソコンと接続している場合は、HDMI ケーブルを本機に接続しないでください。
- HDMI ケーブルと接続中はメイン LCD は表示されません。

設定をリセットする [Reset Settings]

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

1 電源を自動的に切る［**Auto Power Off**］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります
（☞ P.117）

2 ＋または－ボタンを押して［**設定リセット**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**設定リセット**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 各種設定が初期値に戻ります。

6 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

設定リセット後のメニュー設定（初期設定）

録音設定

メニュー項目	初期設定
［マイク感度］（☞ P.72）	［低］
［録音モード］（☞ P.73）	［PCM］：［44.1kHz/16bit］
［録音レベル］（☞ P.75）	［マニュアル］
［ローカットフィルタ］（☞ P.77）	［OFF］
［セルフタイマー］（☞ P.78）	［OFF］
［録音モニター］（☞ P.80）	［ON］
［プラグインパワー］（☞ P.81）	［ON］
［入力ジャック］（☞ P.82）	［マイク］
［音声同期録音］（☞ P.83）	［OFF］

録画設定

メニュー項目	初期設定
［画質］（☞ P.85）	［640 × 480 30fsp］：［MP3 256kbps］
［メイン LCD 表示］（☞ P.87）	［ON］
［反転録画］（☞ P.88）	［OFF］
［マジックムービー］（☞ P.89）	［OFF］
［手振れ補正］（☞ P.91）	［ON］
［測光方式］（☞ P.92）	［多分割測光］
［ホワイトバランス］（☞ P.93）	［オート］
［露出補正］（☞ P.95）	［± 0.0EV］
［高感度モード］（☞ P.96）	［標準］

再生設定

メニュー項目	初期設定
［再生モード］（☞ P.97）	［ファイル］
［イコライザー］（☞ P.98）	［OFF］
［ビジュアライザ］（☞ P.100）	［OFF］
［スキップ間隔］（☞ P.101）	スキップ：［ファイルスキップ］ 逆スキップ：［ファイルスキップ］

表示 / 音設定

メニュー項目	初期設定
［メイン LCD］（☞ P.112）	輝度：［3］
［サブ LCD］（☞ P.113）	バックライト：［10 秒］ コントラスト：［06］
［LED］（☞ P.114）	［ON］
［ビープ音］（☞ P.115）	［ON］
［言語選択］（☞ P.116）	［日本語］

本体設定

メニュー項目	初期設定
［オートパワーオフ］（☞ P.117）	［10 分］
［Fn キー設定］（☞ P.118）	［OFF］
［USB 設定］（☞ P.120）	USB 接続：［PC 接続］ USB クラス：［ストレージ］
［HDMI 設定］（☞ P.122）	［1080i 優先］

ご注意

・ 設定リセット後の時計設定やファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

初期化する [Format]

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 電源を自動的に切る［Auto Power Off］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［本体設定］画面に入ります (☞ P.117)

2 ＋または－ボタンを押して［初期化］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**初期化**］画面に入ります。

4 ＋ボタンを押して［開始］を選ぶ

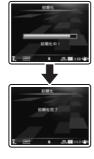
5 ▶OK ボタンを押す

- ［**データが完全に消去されます**］が 2 秒間表示され、［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。

6 ＋ボタンを押してもう一度［開始］を選ぶ

4 本体設定

7 ▶OK ボタンを押す

- ［**初期化中！**］が表示され、初期化が開始されます。

- ［**初期化完了**］が点滅したら初期化終了です。

ご注意

- 本機をパソコンで初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が［**0001**］からとなる場合があります。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください（☞ P.123）。
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。データが破損するおそれがありますので、処理中に電池が切れることがないように、AC アダプタを接続するか、電池残量を十分に確認してください。また、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。
  ① 処理中に AC アダプタを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 処理中にカードを取り外す。
- 本機での SD カードの初期化はクイックフォーマットとなります。SD カード内のデータは、［**初期化**］をしてもファイル管理情報が更新されるだけで完全には消去されません。譲渡・廃棄をする場合には、SD カード内にあるデータの流出にご注意ください。廃棄の際には、SD カードを破壊するなどの対処をおすすめします。

記録メディアの情報を見る［Memory Info.］

メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

1 **電源を自動的に切る［Auto Power Off］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［本体設定］画面に入ります**
（☞ P.117）

2 **＋または－ボタンを押して［メモリ情報］を選ぶ**

3 **▶OK ボタンを押す**

- ［**メモリ情報**］画面に入ります。

4 **情報を確認したら、▶OK ボタンを押して［メモリ情報］画面から出る**

5 **MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する**

ご注意

- 本機に表示される記録メディアの容量については、本機が使用する管理ファイルの容量分も含まれています。SD カードでは、規格容量を下回って表示されますが、異常ではありません。

システム情報を見る [System Info.]

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 **電源を自動的に切る［Auto Power Off］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［本体設定］画面に入ります** (☞ P.117)

2 **＋または－ボタンを押して［システム情報］を選ぶ**

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**システム情報**］画面に入ります。
- ［**モデル名**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

4 **情報を確認したら、▶OK ボタンを押して［システム情報］画面から出る**

5 MENU ボタンを押してメニュー画面を終了する

本機をパソコンでお使いいただくためには

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。
- Olympus Sonority（有償）を使って、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理できます。
- リニア PCM レコーダー、ムービーレコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたのほか、本機を PC カメラとしてもお使いいただけます（☞ P.137）。
- Quick Time を使って、パソコンに取り込んだ .MOV、.WAV、.MP3 形式のファイルを再生できます（☞ P.135）。

パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）	Microsoft ® Windows® XP Service Pack 2 3 Microsoft ® Windows® XP Professional x64 Edition Service Pack 2 Microsoft ® Windows Vista®, Service Pack 1, 2(32bit/64bit) Microsoft ® Windows® 7 (32bit/64bit)
CPU	1 GHz 以上の 32 ビット（ x86）または 64 ビット（ x64） プロセッサ
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上
ディスプレイ	1024 x 768 ドット、 65,536 色以上 (1,677 万色以上を推奨)
USB ポート	１つ以上の空き
その他	・オーディオデバイス ・インターネットが利用できる環境 Quick Time version7.2 以上を推奨

ご注意

- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95/98/Me/2000 から XP/Vista/7 にアップデートした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。
- お使いのパソコンの環境によって正常に動作しない場合があります。
- Olympus Sonority（有償）は動画ファイルには対応していません。

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）	MacOS-X 10.4.11-10.7
CPU	PowerPC® G5 またはインテル・マルチコアプロセッサ 1.5GHz 以上
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Safari 2.0 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット、32,000 色以上（1,677 万色以上を推奨）
USB ポート	１つ以上の空き
その他	• オーディオデバイス • インターネットが利用できる環境 Quick Time version7.2 以上を推奨

表記について

本書では次のコンピュータを想定して説明しています。
お客様の環境と異なる場合、説明内容に従いそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。

- １台目のハードディスクを C ドライブとして解説します。
- １台目のフロッピーディスクを A ドライブとして解説します。
- １台目の CD-ROM ドライブを D ドライブとして解説します。
- Windows XP を使用しているものとし、Windows のインストール先のパスを C:¥Windows として解説します。

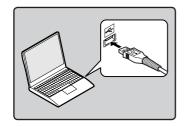
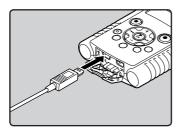
また、お客様が パソコンの基本操作に慣れていることを前提にしています。
パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。わからない用語については、［**用語の説明**］をご覧ください（☞ P.144）。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の PEAK/LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。また､USB 接続を外す場合､必ず ☞ P.133 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合､正しく初期化されません。初期化は､本機の［**初期化**］画面から行ってください (☞ P.125)。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを外してください。

パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する

3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機底面の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する

- USB 接続中は、本機のサブ LCD に［**PC と接続中です**］と表示されます。
- 本機の USB 接続設定で、［**AC アダプタ接続**］を設定していると、パソコンと接続状態になりません。USB 接続設定を［**PC 接続**］にしてください（☞ P.118）。
- Windows の場合、［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っていると、［**リムーバブルディスク**］として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っている場合は［**NO NAME**］と表示されます。

ご注意

- 本機のホールドは解除してください。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。 またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［　］をクリックして、**［USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します］**をクリックする

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の PEAK/LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する

2 本機の PEAK/LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

ご注意

- PEAK/LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

音声録音用の 5 つの フォルダは、パソコン上でそれぞれ［**DSS_FLDA**］、［**DSS_FLDB**］、［**DSS_FLDC**］、［**DSS_FLDD**］、［**DSS_FLDE**］という名前で表示され、その中に録音した音声ファイルが保存されています。また、動画撮影用のフォルダは、［**DCIM**］という名前で表示されます。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.132)

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っていると、［**リムーバブルディスク**］として使用できます。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.133)

Macintosh

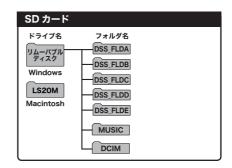
1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.132)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。SD カードが入っている場合、［**LS20M**］というドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.133)

■ パソコンを接続した場合のドライブ名とフォルダ名

ご注意

- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、PEAK/LED 表示ランプが点滅します。PEAK/LED 表示ランプ点滅中は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- Windows の標準環境では、24bit の WAV 形式のファイルは再生できません。Quick Time または Olympus Sonority（有償）をご使用ください。
- Olympus Sonority（有償）では、音声ファイルの編集などができますが、動画ファイルには対応していません。

Quick Time を使う

本機で録音した音声ファイルや動画ファイルをパソコンに転送し、Quick Time を使って再生します。

音声ファイルを再生する

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.132)

2 Quick Time Player を起動する

- Quick Time Player のコントロール画面が表示されます。

3 メニューバーの［**ファイル**］から［**ファイルを開く**］を選ぶ

- ファイルを選ぶダイアログが表示されます。

4 ダイアログ画面で、再生したいファイルのある［**ファイルの場所**］、［**ファイルの種類**］、［**ファイル名**］をそれぞれ設定する

- 本機で録音した音声ファイルを選ぶ場合は、［**ファイルの種類**］を［**オーディオファイル**］に設定します。
- ファイルを選び、［**開く**］をクリックします。

5 ファイルを再生する

- Quick Time Player のコントロールの ▶ ボタンを押すと再生を開始します。

動画ファイルを再生する

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.132)

2 Quick Time Player を起動する

- Quick Time Player のコントロール画面が表示されます。

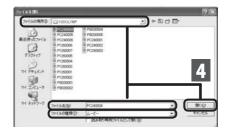
3 メニューバーの［**ファイル**］から［**ファイルを開く**］を選ぶ

- ファイルを選ぶダイアログが表示されます。

4 ダイアログ画面で、再生したいファイルのある［**ファイルの場所**］、［**ファイルの種類**］、［**ファイル名**］をそれぞれ設定する

- 本機で撮影した動画ファイルを選ぶ場合は、［**ファイルの種類**］を［**ムービー**］に設定します。
- ファイルを選び、［**開く**］をクリックします。

5 ファイルを再生する

- Quick Time Player のコントロールの ▶ ボタンを押すと再生を開始します。

PC カメラとして使う

Windows XP、Vista、Windows 7 または Mac OS を搭載したパソコンでは、本機を PC カメラとして使うことができます。

PC カメラとして使うには

1 本機の [**USB 設定**] で [**USB クラス**] を [**PC カメラ**] に設定する (☞ P.120)

2 本機をパソコンに接続する (☞ P.132)

- PC カメラが動作中は、本機のメイン LCD にスルー画が表示されます。
- PC カメラが動作中に、本機の＋または－ボタンを押すと、ズームと音量の調整ができます。ズームと音量の調整画面は ▶OK ボタンを押すたびに切り替わります。
- PC カメラが動作中に、本機の ▶▶I または I◀◀ ボタンを押すと、録音レベルの調整ができます。

動作環境

Windows の場合：

Windows XP SP3 以降
Windows Vista
Windows 7

使用アプリケーション：

Windows Live Messenger

Macintosh の場合：

Mac OS X 10.6 以降

PC カメラ使用時に有効な本機の設定

本機を PC カメラとして機能させると、現在設定されているメニュー構成で動作します。
有効なメニュー項目は次の通りです。

録音設定	**[マイク感度]（☞ P.72）**
	[録音レベル]（☞ P.75）
	[ローカットフィルタ]（☞ P.77）
	[録音モニター]（☞ P.80）＊
録画設定	**[メイン LCD 表示]（☞ P.87）**
	[反転録画]（☞ P.85）
	[マジックムービー]（☞ P.89）
	[手振れ補正]（☞ P.91）
	[測光方式]（☞ P.92）
	[ホワイトバランス]（☞ P.93）
	[露出補正]（☞ P.95）
	[高感度モード]（☞ P.96）

＊常時［ON］の設定です。

ご注意

- 配信できるのは、動画（映像と音声）のみです。音声のみの配信はできません。
- PC カメラ使用時、カメラは 1 秒間に 30 フレームの撮影ができますが、通信回線の状態やパソコンの処理速度によってはこれを下回る場合があります。
- PC カメラ使用時の画質は［**640 × 480 30fps**］、音声は PCM フォーマットの 16kHz に固定されます。
- PC カメラ使用時、[**録音モニター**] は常に [**ON**]（☞ P.80）の状態で、切り替えできません。
- パソコンのアプリケーションを使って、入力レベルの変更はできません。変更する場合は、［**録音レベル**］を［**マニュアル**］（☞ P.75）にして、本機で調整してください。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery Low)	電池残量がない。	充電してください（☞ P.19、20)。充電してもすぐに電池がなくなる場合は電池の寿命です。新品の電池に交換してください。
ファイルロック中 消去できません (File Protected)	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください(☞ P.103)。
A ～ E フォルダで 録音してください (Cannot record in this folder)	［**DCIM**］または［**ミュージック**］フォルダで録音しようとした。	[**フォルダ A**] ～ [**フォルダ E**] を選び直して録音してください (☞ P.32)。
これ以上記録できません (インデックスマークを つけるとき) (Index Full)	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください（☞ P.52)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder Full)	フォルダ内のファイル件数が最大数になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.59)。
SD カードに 異常があります (Card Error)	SD カードが正しく認識されていない。	もう一度 SD カードの抜き差しを行ってください（☞ P.27)。
メモリがいっぱいです (Memory Full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.59)。
ファイルがありません (No File)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください(☞P.32)。
初期化に失敗しました (Format Error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください（☞ P.125)。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを 消去してください (Can't make the system file. Connect to PC and delete unnecessary file)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。

表示	詳細	解決方法
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください（☞ P.48）。
ファイルを選んでください (Please Select The File)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください（☞ P.32）。
移動（コピー）できないフォルダです (Same folder. Can't be moved (copied).)	同じフォルダに移動（コピー）しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動（コピー）できないファイルがあります (Some files can't be moved (copied).)	移動（コピー）先に同一ファイル名がある場合。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で記録した WAV 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。
回路冷却中 しばらくお待ち下さい (Cooling circuit. Please Wait)	回路が温度上昇したため、録音または撮影ができない。	回路の温度が下がるまで、しばらくお待ちください。
回路冷却のため 録音を中止します (Sound rec. stopped)	回路が温度上昇したため、録音が中止されました。	回路の温度が下がるまで、しばらくお待ちください。
回路冷却のため 動画撮影を中止します (Movie rec. stopped)	回路が温度上昇したため、撮影が中止されました。	回路の温度が下がるまで、しばらくお待ちください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の向きを確かめてください（☞ P.17）。
	電池残量がない。	充電してください（☞ P.19、20）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.22）。
操作できない	電池残量がない。	充電してください（☞ P.19、P.20）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.22）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.23）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.59）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.32）。
撮影できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.59）。
	音声モード (🎙) で撮影しようとしている。	本機の**モード**スイッチを動画モード (🎥) にしてください（☞ P.33）。
内蔵マイクから集音しない	**MIC** ジャックに外部マイクや外部機器が接続されている。	**MIC** ジャックに接続されている外部マイクや外部機器をすべて取り外してください（☞ P.40）。
外部マイクから録音できない	プラグインパワー対応の外部マイクを接続したが、［**プラグインパワー**］の設定が［**OFF**］になっている。	プラグインパワー対応の外部マイクを接続した場合、［**プラグインパワー**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.81）。
	[**入力ジャック**] の設定が [**ライン**] になっている。	[**入力ジャック**] の設定を [**マイク**] にしてください（☞ P.82）。
再生音が聞こえない	**EAR** ジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカで再生する場合、イヤホンを取り外してください。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P.48）。

症状	考えられる原因	対処方法
撮影が途中で止まる	1 ファイルの容量が 4GB を超えた。	1 ファイルで 4GB を超える撮影はできません。
録音のレベルが小さい	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.35-36、P.76）。
	マイク感度が低い。	マイク感度の設定を［**高**］にしてもう一度録音してください（☞ P.72）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルの音が歪む	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.35-36、P.76）。
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過多が考えられます。	録音レベルを調整（☞ P.35-36、P.76）をしてもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.32）。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	―――――
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
	接続した外部マイクと本機の設定が合っていない。	プラグインパワー機能に対応していないマイクを接続した場合、［**プラグインパワー**］の設定を［**OFF**］にしてください（☞ P.81）。
録音中にイヤホンから音が聞こえない	［**録音モニター**］の設定が［**OFF**］になっている。	［**録音モニター**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.80）。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.103）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。

症状	考えられる原因	対処方法
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。 録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］の設定を［**OFF**］にすることをおすすめします（☞ P.80）。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。
インデックスマークがつけられない	マーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.52）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.103）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
	MP3 形式のファイルである。	MP3 形式のファイルにはインデックスは付けられません。
充電ができない	指定の電池以外の電池が入っている。	付属の電池を入れてください。
本機が暖かい	動画撮影時は本機の背面が暖かくなりますが、故障ではありません。	異常に熱いときは、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、弊社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W

モノラルマイクロホン ME30 2本と小型三脚、接続アダプタのセットです。プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31

野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

コンパクトズームマイクロホン：ME32（単一指向性）

三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W

周囲の雑音の影響を軽減し、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15

タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

テレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

リチウムイオン電池：LI-42B

オリンパス製充電式リチウムイオン電池です。充電器 LI-41C とあわせてお使いいただくと便利です。

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（ϕ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力を MIC 入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（ϕ 3.5)、またはモノラルミニミニプラグ（ϕ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

コネクティングコード：KA334

両端がステレオミニプラグ（ϕ 3.5）の抵抗なし接続コードです。本機の [**入力ジャック**] 設定を [**ライン**] に設定して使用してください。

専用リモコンセット：RS30W

受信機を REMOTE ジャックに取り付けるとリモコンで本機の録音／撮影／停止の操作ができます。受信位置は調整できるので、さまざまな角度から本機を操作できます。

ハイスピード HDMI ケーブル：CB-HD1

HDMI 接続で本機とハイビジョンテレビを接続するケーブルです。本機側のコネクタタイプはＨＤＭＩマイクロコネクタ（タイプ D）です。

用語の説明

用語	意味
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WAV、MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
音声同期録音	設定した音声同期レベル（検出レベル）よりも大きな音声を感知すると自動的に録音を開始し、音声が小さくなると自動的に待機状態になる機能です。待機状態になるたびにファイルは閉じられ、別ファイルで録音されていきます。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
動画ファイル	本機で撮影した動画のことを動画ファイルと呼びます。
ファイルロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
フォーマット	初期化とも言います。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための保管場所（入れ物）です。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。
サンプリング周波数［Hz・kHz］	サンプリング周波数は、記録される音の帯域を決める数値です。この周波数が高いほど、高い周波数の音も記録できますが、データ量も増えます
量子化ビット数［bit］	量子化ビット数は、音声等のアナログ信号をデジタル信号に変換する際に、どれだけきめ細かくデータを記録するかを決める値です。値が大きいほど音のきめ細かさが増しますが、データ量も増えます。
ビットレート［kbps］	1 秒間に何ビットのデータで再現しているかを示す数値のことです。例えば 128kbps のファイルは 1 秒間に 128kbit を使って再現されているデータということになります。ビットレートの数値を下げるほど、音は劣化しますがデータ容量が少なく済みます。

用語	意味
リニア PCM 方式	得られたデータに対して圧縮等の処理を行わないため、音質を損なわずにありのままの音を記録することができます。音楽 CD(CD-DA) がこの方式を利用しています。
MP3 方式	最も広く普及している音声圧縮方式の一つです。音楽 CD 並の音質をほとんど劣化させずに、データ容量を元データの約 1/11 まで圧縮することができるとされています。
メモリ（メディア）	記憶媒体のことで、電源が切れてもデータは消えない構造になっています。本書では SD カードのことを指します。
プラグインパワー方式	IC レコーダーなどの録音機からマイクロホンへ電源を供給する方式のことです。

主な仕様

一般事項

■ **記録形式：**
音声：リニア PCM（Pulse Code Modulation）形式
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式
動画：MOV（MPEG-4AVC/H.264）形式

■ **記録媒体：**
SD カード（1GB ～ 32GB に対応）

■ **有効画素数：**
293 万画素 (16:9)
219 万画素 (4:3)

■ **画像素子：**
1/4 型 5M pixels CMOS センサー

■ **レンズ：**焦点距離 f4.1mm
35mm 換算値
16：9 時 49mm
4：3 時 59mm

■ **撮影範囲：**
30cm ～∞

■ **動画解像度：**
1080p 30fps、720p 30fps、480p 30fps

■ **測光方式：**
撮像素子によるデジタル EPS 測光、スポット測光

■ **デジタルズーム：**
最大４倍

■ **液晶モニター：**
2.0 インチ　カラー液晶モニター

■ **サンプリング周波数：**
リニア PCM 形式

[96 kHz/24 bit]	96 kHz
[88.2 kHz/24 bit]	88.2 kHz
[48 kHz/16 bit]	48 kHz
[44.1 kHz/16 bit]	44.1 kHz

MP3 形式

[320 kbps 44.1 kHz]	44.1 kHz
[256 kbps 44.1 kHz]	44.1 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
3 mW + 3 mW（16 Ω負荷時）

■ **スピーカ：**
φ 16mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ MIC **ジャック：**
入力ジャック [マイク]：
φ 3.5mm インピーダンス 2.2 k Ω
入力ジャック [ライン]：
φ 3.5mm インピーダンス 39 k Ω

■ EAR **ジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 16 Ω以上

■ **コネクタ：**
USB 端子／ HDMI マイクロ端子（タイプ D）

■ **スピーカ実用最大出力：**
270 mW（スピーカ 8 Ω）

■ **電源：**
規定電圧：3.7 V
電　　池：オリンパス製リチウムイオン電池（LI-42B）
外部電源：USB 接続 AC アダプタ（F-3AC ）（DC5V）

■ **外形寸法：**
135mm × 63mm × 18.1mm
（最大突起部含まず）

■ **質量：**
154g（電池・SD カード含む）

■ **使用温度：**
0 ～ 42℃

■ **同梱品：**
本体／リチウムイオン電池／
USB 接続 AC アダプタ／ USB ケーブル／
取扱説明書 (保証書付)

周波数特性

■ MIC **ジャック録音時：**

リニア PCM 形式

[96 kHz/24 bit]	20 Hz ～ 44 kHz
[88.2 kHz/24 bit]	20 Hz ～ 42 kHz
[48 kHz/16 bit]	20 Hz ～ 23 kHz
[44.1 kHz/16 bit]	20 Hz ～ 21 kHz

MP3 形式

[320 kbps 44.1 kHz]	50 Hz ～ 20 kHz
[256 kbps 44.1 kHz]	50 Hz ～ 20 kHz

■ **内蔵ステレオマイク録音時：**

60 Hz ～ 20 kHz（但し、MP3 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モードによる）

■ **再生時：**

20 Hz ～ 20 kHz

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ **リチウムイオン電池：**

音声モード		内蔵ステレオマイク録音時	内蔵スピーカ再生時	イヤホン再生時
リニア PCM 形式	[96 kHz 24 bit]	3 時間 45 分	4 時間 15 分	4 時間 25 分
	[88.2 kHz 24 bit]	3 時間 45 分	4 時間 15 分	4 時間 25 分
	[48 kHz 16 bit]	3 時間 45 分	4 時間 15 分	4 時間 25 分
	[44.1 kHz 16 bit]	3 時間 45 分	4 時間 15 分	4 時間 25 分
MP3 形式	[320kbps 44.1 kHz]	4 時間	4 時間 30 分	4 時間 35 分
	[256kbps 44.1 kHz]	4 時間	4 時間 30 分	4 時間 35 分

動画モード		内蔵ステレオマイク 撮影時	内蔵スピーカ 再生時	イヤホン 再生時
1920 × 1080 30fps (リニア PCM 形式)	[96 kHz 24 bit]	1 時間 5 分	2 時間	2 時間
	[88.2 kHz 24 bit]	1 時間 5 分	2 時間	2 時間
	[48 kHz 16 bit]	1 時間 5 分	2 時間	2 時間
	[44.1 kHz 16 bit]	1 時間 5 分	2 時間	2 時間
1280 × 720 30fps (リニア PCM 形式)	[96 kHz 24 bit]	1 時間 10 分	2 時間 15 分	2 時間 15 分
	[88.2 kHz 24 bit]	1 時間 10 分	2 時間 15 分	2 時間 15 分
	[48 kHz 16 bit]	1 時間 10 分	2 時間 15 分	2 時間 15 分
	[44.1 kHz 16 bit]	1 時間 10 分	2 時間 15 分	2 時間 15 分
640 × 480 30fps (MP3 形式)	[320kbps 44.1 kHz]	1 時間 20 分	2 時間 25 分	2 時間 25 分
	[256kbps 44.1 kHz]	1 時間 20 分	2 時間 25 分	2 時間 25 分

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変ります。

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	SD カード					
	1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
[96 kHz/24 bit]	25 分	55 分	1 時間 50 分	3 時間 45 分	7 時間 25 分	15 時間 20 分
[88.2 kHz/24 bit]	30 分	1 時間	2 時間	4 時間	8 時間 5 分	16 時間 40 分
[48 kHz/16 bit]	1 時間 20 分	2 時間 45 分	5 時間 30 分	11 時間 20 分	22 時間 20 分	45 時間 55 分
[44.1 kHz/16 bit]	1 時間 30 分	3 時間	6 時間	12 時間 20 分	24 時間 15 分	49 時間 55 分

■ MP3 形式：

録音モード	SD カード					
	1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
[320 kbps 44.1 kHz]	6 時間 45 分	12 時間 45 分	26 時間	53 時間 30 分	105 時間	216 時間
[256 kbps 44.1 kHz]	8 時間 30 分	16 時間	32 時間	67 時間	131 時間	270 時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の SD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。

撮影時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ 1920 × 1080 30fps：

撮影モード	SD カード					
	1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
[96 kHz/24 bit]	7 分	15 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間
[88.2 kHz/24 bit]	7 分	15 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間
[48 kHz/16 bit]	9 分	17 分	35 分	1 時間 10 分	2 時間 20 分	5 時間
[44.1 kHz/16 bit]	9 分	17 分	35 分	1 時間 10 分	2 時間 20 分	5 時間

■ 1280 × 720 30fps：

撮影モード	SD カード					
	1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
[96 kHz/24 bit]	10 分	20 分	45 分	1 時間 30 分	3 時間	6 時間
[88.2 kHz/24 bit]	10 分	20 分	45 分	1 時間 30 分	3 時間	6 時間
[48 kHz/16 bit]	15 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間	8 時間
[44.1 kHz/16 bit]	15 分	30 分	1 時間	2 時間	4 時間	8 時間

■ 640 × 480 30fps：

撮影モード	SD カード					
	1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
[320 kbps 44.1 kHz]	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 30 分	9 時間 30 分	19 時間
[256 kbps 44.1 kHz]	30 分	1 時間	2 時間	4 時間 30 分	9 時間 30 分	19 時間

ご注意

- 小刻みに撮影を繰り返したときは、撮影可能時間がこれより短くなる場合があります（撮影可能時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の SD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、撮影可能時間にも差が発生します。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、MP3 形式は約 4GB、PCM 形式は約 2GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は下記の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	録音時間
[96 kHz/24 bit]	約 55分
[88.2 kHz/24 bit]	約 1 時間
[48 kHz/16 bit]	約 2 時間 45 分
[44.1 kHz/16 bit]	約 3 時間

■ MP3 形式：

録音モード	録音時間
[320 kbps 44.1 kHz]	約 26 時間
[256 kbps 44.1 kHz]	約 32 時間

1 ファイルあたりの最長撮影時間

- 動画ファイルの 1 ファイルあたりの最大容量は、は約 4GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は下記の値に制限されています。

■ 1920 × 1080 30fps：

撮影モード	撮影時間
[96 kHz/24 bit]	約 30 分
[88.2 kHz/24 bit]	約 30 分
[48 kHz/16 bit]	約 35 分
[44.1 kHz/16 bit]	約 35 分

■ 1280 × 720 30fps：

撮影モード	撮影時間
[96 kHz/24 bit]	約 45 分
[88.2 kHz/24 bit]	約 45 分
[48 kHz/16 bit]	約 1 時間
[44.1 kHz/16 bit]	約 1 時間

■ 640 × 480 30fps：

撮影モード	撮影時間
[320 kbps 44.1 kHz]	約 2 時間
[256 kbps 44.1 kHz]	約 2 時間

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

アルファベット

A

D

E

F

H

L

M

O

P

Q

R

S

U

W

かな

い

お

か

け

こ

ろ

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後６ 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は､お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ. 本書のご提示がない場合。
   ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒 163-0914 東京都新宿区西新宿 2 の 3 の 1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1 年	無料	
品名	リニアPCMレコーダー	型名	**LS-20M**
シリアルNo.		お買い上げ日	年 月 日
販売店名	無効		

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● **オンライン修理受付のご案内**

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● **ピックアップサービス（引取修理）のご案内**

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

フリーダイヤル 0120-971995

営業時間：平日 8：00〜21：00
土・日・祭日 9：00〜17：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。

J1-BD3355-03　AP1111